

# 岐阜の畜産



2020



令和2年度 飛騨牛繁殖研修センター  
研修生(第1期生)入所式



令和3年3月

岐 阜 県

# 表紙写真の説明

## 上段左: 第5回岐阜県ホルスタイン共進会

〈令和2年11月13日(金)、関市〉

第5回岐阜県ホルスタイン共進会は、岐阜県内におけるホルスタイン種の改良増殖の成果と優良種雄牛の造成意欲の高揚、酪農経営の健全な発展の場となっています。経産牛のグランドチャンピオンとして高山市の酪農家が選出されました。

## 上段右: 令和2年度豚肉料理レシピコンクール

〈令和2年11月28日(土)、岐阜市〉

岐阜県養豚協会のPRイベントとして、豚肉を使った料理のアイデアを広く募集しました。募集したレシピは、豚肉の消費拡大と豚肉の正しい知識の啓発・普及を図るための調理講習会において紹介されます。書類選考を通過した入賞者には、実際に試作調理をしていただきました。

## 下段: 飛騨牛繁殖研修センター入所式

〈令和2年4月7日(火)、美濃加茂市〉

平成31年3月に開設した「飛騨牛繁殖研修センター」(国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学、全国農業協同組合連合会岐阜県本部、岐阜県の3者による連携協議会が運営)にて、令和2年4月から飛騨牛の将来を支える新たな担い手育成研修事業を開始しました。このたび、令和2年度研修生(第1期生)として3人の研修生が入所しました。

# 目 次

## I 畜産の概況

1	全国的にみた岐阜県の畜産の地位	1
2	農業産出額に占める畜産産出額割合	2
3	農業産出額と畜種別産出額	3
4	岐阜県の畜産物ブランド	
	飛騨牛	4
	まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク	5
	奥美濃古地鶏	6
	美濃飛騨はちみつ	7
5	自給飼料	
	(1) 飼料用稲の生産及び利用状況	
	ア 飼料用米	8
	イ 稲WCS	8
6	岐阜県家畜育成牧場	
	(1) 牧場の概要	9
	(2) 家畜の譲渡頭数等の推移	9
7	畜産生産振興地域指定市町村分布	10
8	家畜衛生	
	(1) 家畜伝染病発生状況	11
	(2) 獣医事	
	ア 獣医師の就業状況	12
	イ 飼育動物診療施設の状況	12
	(3) 動物用医薬品販売業者等数	12
9	環境保全対策	
	(1) 畜産経営に起因する苦情発生件数の推移	13
	(2) 畜種別の糞尿処理状況	13
10	畜産コンサルタント事業	14
11	家畜の改良と増殖	
	(1) ブロック別家畜登録状況	14
	(2) 得点別登録状況	14
	(3) 人工授精頭数の推移	15
	(4) 受精卵移植成績の推移	15
12	競馬	16

## II 畜種別の動向

1	乳用牛	
	(1) 乳用牛の飼養頭数の分布	17
	(2) 乳用牛の飼養戸数と頭数	18
	(3) 生乳の生産と処理量	18
	(4) 全国の飲用牛乳の生産	19
	(5) 飲用牛乳の生産	19
	(6) 生乳と飲用牛乳の流通	20
	(7) 生乳の学校給食用供給量の推移	21
	(8) 県内の学校給食用牛乳供給乳業工場	21

2	肉用牛	
	(1) 肉用牛の飼養頭数の分布	22
	(2) 肉用牛の飼養戸数と頭数	23
	(3) 肉用牛の種別飼養頭数	23
	(4) 肉用牛のと畜頭数と取引価格	24
	(5) 県内の子牛市場	25
	(6) 肉用子牛価格	25
3	豚	
	(1) 豚の飼養頭数の分布	26
	(2) 豚の飼養戸数と頭数	27
	(3) 豚のと畜頭数と取引価格	27
4	採卵鶏・ブロイラー	
	(1) 採卵鶏の飼養羽数の分布	28
	(2) 採卵鶏の飼養戸数と羽数	29
	(3) 鶏卵の生産量	29
	(4) ひな出荷羽数	30
	(5) ブロイラーの飼養羽数の分布	31
	(6) ブロイラーの出荷羽数	32
5	養蜂	33
6	めん羊・馬	
	(1) めん羊の飼養戸数と頭数	34
	(2) 馬の飼養戸数と頭数	34
	公共牧場の概要	35
	県畜産関係機関一覧	36

統計表	別冊
-----	----

# I 畜産の概況

## 1 全国的にみた岐阜県の畜産の地位(令和2年2月1日現在)

畜種	順位			
	飼養戸数	飼養頭羽数	1戸当たり飼養頭羽数	産出額 (令和元年)
乳用牛	27位 (104戸)	28位 (5,510頭)	29位 (53.0頭)	29位 (44億円)
肉用牛	21位 (481戸)	21位 (32,200頭)	23位 (66.9頭)	18位 (117億円)
豚	28位 (32戸) (H31.2.1現在)	24位 (99,800頭) (H31.2.1現在)	9位 (3,118.8頭) (H31.2.1現在)	30位 (38億円)
採卵鶏	9位 (69戸) (H31.2.1現在)	16位 (3,836千羽) (H31.2.1現在)	24位 (55.6千羽) (H31.2.1現在)	15位 (126億円)
ブロイラー	25位 (17戸) (H31.2.1現在)	22位 (993千羽) (H31.2.1現在)	15位 (58.4千羽) (H31.2.1現在)	26位 (20億円)
みつばち (1月1日現在)	(385戸)	(6,572群)		

\*令和2年はセンサス実施年のため、豚・採卵鶏・ブロイラーの飼育戸数、飼育羽数、1戸当たりの飼養頭羽数について調査を行っていない。

\*採卵鶏:成鶏めす1,000羽以上の飼養者(ひなのみ及び種鶏のみで、それぞれ1,000羽以上の飼養者含む)

\*採卵鶏産出額は鶏卵のみ

\*ブロイラー:年間出荷羽数3,000羽以上の飼養者□

資料:農林水産省統計部「畜産統計調査」、「生産農業所得統計」

資料:みつばち「県畜産振興課」

令和2年2月1日現在の農家戸数及び飼養頭羽数は、乳用牛が104戸、5,510頭、肉用牛が481戸、32,200頭となっている。

採卵鶏の飼養戸数は、上位に位置する。豚とブロイラーの1戸当たり飼養頭羽数は、上位に位置する。その他の項目は、中位に位置している。

## 2 農業産出額に占める畜産産出額割合(令和元年)

畜産産出額の全国順位

都道府県	順位	畜産 産出額	構成比	産出額 割合
		億円	%	%
北海道	1	7 350	22.7	58.5
青森	10	885	2.7	28.2
岩手	4	1 569	4.9	58.6
宮城	12	736	2.3	38.1
秋田	26	362	1.1	18.7
山形	25	371	1.1	14.5
福島	22	435	1.3	20.9
茨城	6	1 243	3.8	28.9
栃木	7	1 156	3.6	40.4
群馬	9	1 058	3.3	44.8
埼玉	33	249	0.8	14.8
千葉	5	1 248	3.9	32.3
東京	46	19	0.1	8.1
神奈川	36	148	0.5	22.6
新潟	16	474	1.5	19.0
富山	40	84	0.3	12.8
石川	39	91	0.3	16.5
福井	45	44	0.1	9.4
山梨	42	78	0.2	8.5
長野	30	279	0.9	10.9
<b>岐阜</b>	<b>24</b>	<b>372</b>	<b>1.2</b>	<b>34.9</b>
静岡	18	461	1.4	23.3
愛知	11	813	2.5	27.6
三重	21	442	1.4	40.0
滋賀	38	107	0.3	16.5
京都	37	125	0.4	18.8
大阪	46	19	0.1	5.9
兵庫	14	569	1.8	37.7
奈良	43	56	0.2	13.9
和歌山	44	49	0.2	4.4
鳥取	29	286	0.9	37.6
島根	32	252	0.8	41.2
岡山	13	581	1.8	41.0
広島	17	467	1.4	40.0
山口	35	178	0.6	28.3
徳島	31	263	0.8	27.4
香川	28	320	1.0	39.9
愛媛	33	249	0.8	20.6
高知	41	81	0.3	7.3
福岡	23	389	1.2	19.2
佐賀	27	340	1.1	30.0
長崎	15	558	1.7	36.9
熊本	8	1 148	3.5	34.1
大分	20	444	1.4	37.2
宮崎	3	2 209	6.8	65.0
鹿児島	2	3 227	10.0	66.0
沖縄	19	459	1.4	47.0

\*産出額割合:

農業産出額に占める畜産産出額の割合

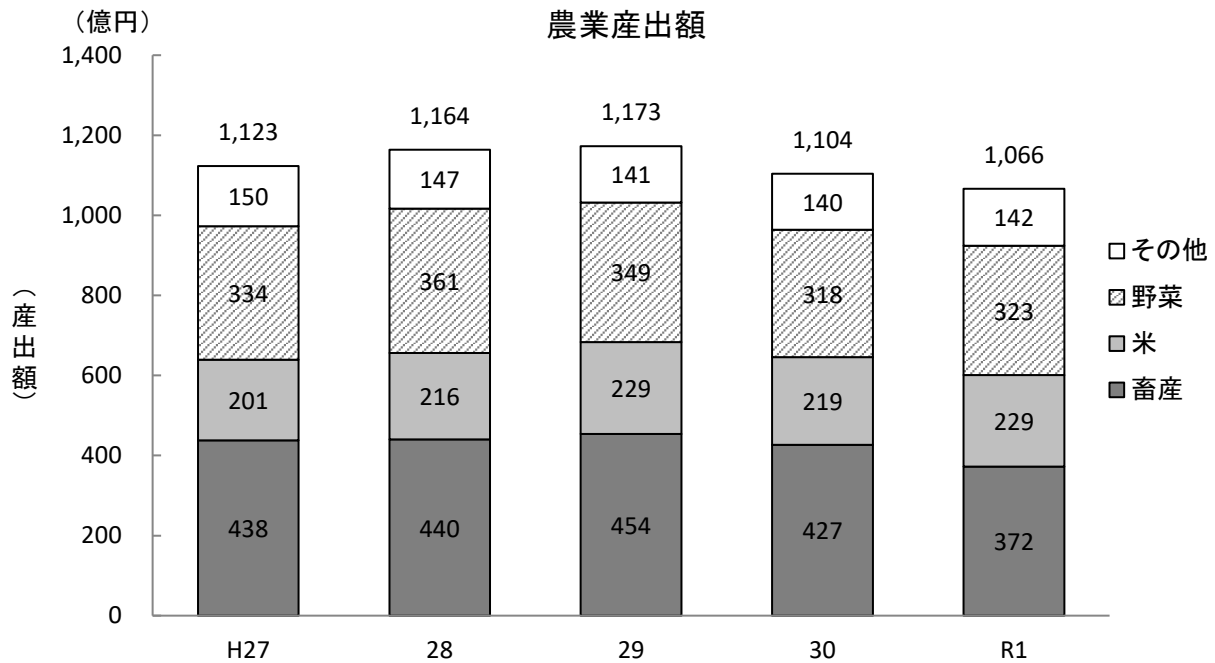
資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

### 岐阜県の畜産産出額割合は34.9%

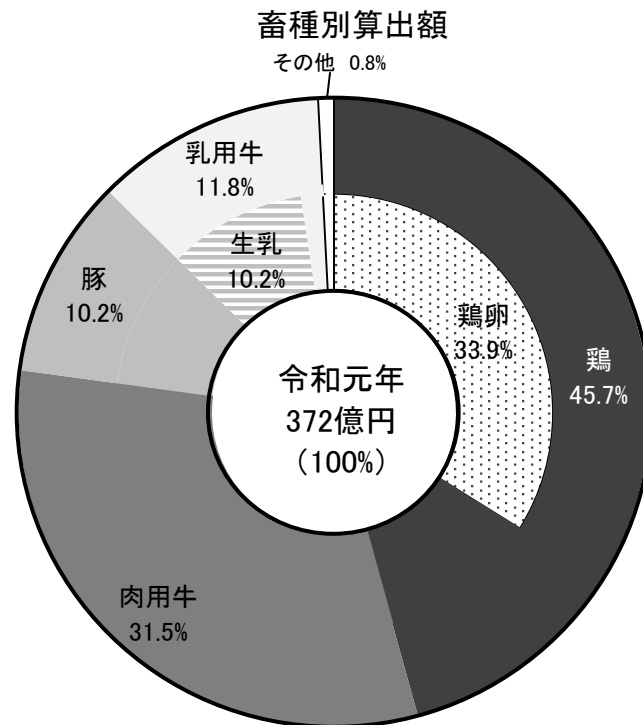
岐阜県の農業産出額に占める畜産産出額の割合は、前年よりやや減少の34.9%。

畜産産出額を都道府県別にみると、乳用牛を主体とする北海道が第1位で7,350億円(全国シェア22.7%)、次いで鹿児島県の3,227億円(同10.0%)、宮崎県の2,209億円(同6.8%)となっており、岐阜県は24位で372億円(同1.2%)となっている。

### 3 農業産出額の推移と畜種別産出額内訳



資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」



資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

#### 農業産出額は減少

岐阜県における令和元年の農業産出額は、1,066億円となり、前年に比べて38億円(3.4%)減少した。部門別産出額では、米、野菜、果実、花き、工芸農作物等の耕種部門は693億円で、前年に比べ18億(2.7%)増加し、畜産部門は372億円で前年に比べ55億円(12.9%)減少した。畜種別にみると、肉用牛は117億円で前年と同様、乳用牛は44億円で、前年に比べ2億円(4.3%)減少した。豚は38億円で、前年に比べ43億円(53.1%)減少し、鶏は170億円、前年に比べ11億円(6.1%)減少した。

## 4 岐阜県の畜産物ブランド

# 飛驒牛

豊かな自然が育んだ味

「飛驒牛」とは、飼養期間が最も長い場所が岐阜県であり、飛驒牛銘柄推進協議会登録農家制度※にて認定・登録された生産者により14カ月以上肥育された黒毛和種の肉牛のうち、(公社)日本食肉格付協会が実施する牛枝肉格付により肉質等級5等級・4等級・3等級と格付けされたものであることを飛驒牛銘柄推進協議会事務局が確認し、認定したものです。

清らかな水と澄んだ空気、人々の愛情により育てられ、その肉質はきめ細かくやわらかで、とろけるような旨みは牛肉の芸術品と呼ぶにふさわしい逸品です。

※登録農家制度

岐阜県内にて黒毛和種を飼養する生産者を対象に、手続きを経て認定・登録する制度

(飛驒牛銘柄推進協議会ホームページにて公開)



### 【関連団体】

飛驒牛銘柄推進協議会 [昭和63年1月23日設立]

(事務局: 全農岐阜県本部畜産販売課内)

<http://www.hidagyu-gifu.com/>

### 【年間認定頭数の推移】

(単位: 頭)

年度	H27	H28	H29	H30	R1
認定頭数	10,445	9,950	9,916	10,042	9,784

### 【登録農家数】

259戸

(令和2年4月30日現在)

### 【指定店数】

販売店 167店

料理店 199店

海外推奨店 51店

(令和2年4月30日現在)



(提供: 飛驒牛銘柄推進協議会)



# まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク

県内の養豚農家がそれぞれのこだわりをもって生産した銘柄豚肉の数々

岐阜県内には、「飛騨けんとうん・美濃けんとうん」をはじめ、各々の養豚農家が飼料や飼育方法にこだわりを持って生産した数々の銘柄豚肉があります。

岐阜県養豚協会では、県内においしい銘柄豚肉がたくさんあることを知ってもらい、これらの県産銘柄豚肉を一体的にPRしていくため、『まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク』という統一名称、キャッチコピー、ロゴマークを決め、岐阜県産豚肉の一層の支持、販路の拡大を図ることとしています。



## 【関連団体】

岐阜県養豚協会[昭和51年9月8日設立]  
(会員数26名 令和2年度)

## 【参加銘柄:順不同】(令和2年4月1日現在)

飛騨けんとうん・美濃けんとうん  
文殊にゅうとん  
寒天そだち三浦豚  
山金豚

飛騨旨豚  
納豆喰豚  
ポーノポークぎふ  
あんしん豚

郡上クラシックポーク  
美濃ヘルシーポーク  
はちや豚



# 奥美濃古地鶏

神代の味の再現

「奥美濃古地鶏」は、鶏の原種の特徴を最も色濃く残すといわれ天然記念物に指定されている「岐阜地鶏」を基に、岐阜県が開発した地鶏で肉用鶏と卵用鶏があります。

肉用鶏は、奥美濃古地鶏普及推進協議会が生産者を認定し、「地鶏肉の日本農林規格」に準じた生産を行っています。ゆったりと十分に運動できる環境において、75日間以上かけて飼育しているため、肉は赤みを帯び、歯ごたえよく、あふれる旨みが特徴です。

また、卵用鶏の卵は一般の鶏卵に比べて小ぶりですが、卵黄の比率が高く、濃厚でコクがあります。



※「地鶏肉の日本農林規格」

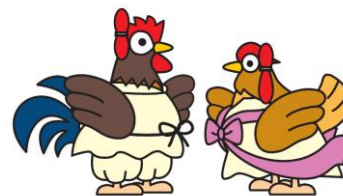
「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」に基づき、国が定めた「地鶏肉」の規格

## 【関連団体】

奥美濃古地鶏普及推進協議会[平成4年7月17日設立]

(事務局:岐阜アグリフーズ株式会社内)

<http://okuminokojidori.com/>



奥美濃古地鶏公式キャラクター  
(提供:奥美濃古地鶏普及推進協議会)

## 【肉用鶏の年間え付け羽数の推移】

年度	H27	H28	H29	H30	R1
え付け羽数	160.0千羽	155.5千羽	132.2千羽	126.2千羽	116.6千羽
飼養戸数	5戸	5戸	5戸	6戸	6戸

## 【指定店数】

販売店 33店

料理店 27店

(令和2年3月31日現在)



肉用 奥美濃古地鶏

(提供:奥美濃古地鶏普及推進協議会)



卵用 奥美濃古地鶏

(提供:県畜産研究所)

# 美濃飛驒はちみつ

近代養蜂発祥の地

現在の西洋式の養蜂は明治の中期に日本に導入され、岐阜県の養蜂家が中心となり、養蜂器具の作成や技術の普及が行われました。明治43年には第1回全国養蜂家大会が岐阜県で開催されました。このため、岐阜県は「近代養蜂発祥の地」と言われています。

岐阜県では標高差のある自然条件を生かし、岐阜・西濃地域のれんげ蜜や中濃・東濃・飛驒地域のソヨゴ蜜、とち蜜、アカシア蜜など様々な種類のはちみつが生産されています。

近年の養蜂業は、はちみつ、蜜ろう、ローヤルゼリーの生産だけでなく、野菜や果樹の花粉交配にも蜜蜂が利用されていることから、農産物の生産に大きく寄与しています。

岐阜県養蜂組合連合会は平成18年度から岐阜県内養蜂業界の発展を図ることを目的として、岐阜県内で生産・販売する岐阜県産天然はちみつを対象に県内での統一した銘柄づくりに着手。その第一歩として、右図にあるような「美濃飛驒はちみつ」の統一シール(右上)の貼付を行い、農業フェスティバル等でアピールを行っています。



## 【関連団体】

岐阜県養蜂組合連合会[昭和27年3月設立]  
(県内11地域組合 会員数93名 令和2年度)

## 【県内のはちみつ生産量の推移】

年次	H27	H28	H29	H30	R1
はちみつ生産量	121.9t	118.2t	104.3t	102.2t	103.6t

(岐阜県養蜂組合連合会調べ)



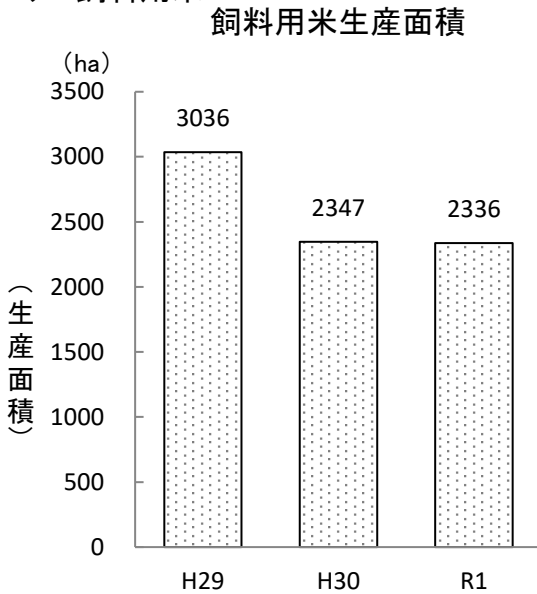
いちごの受粉を行う蜜蜂



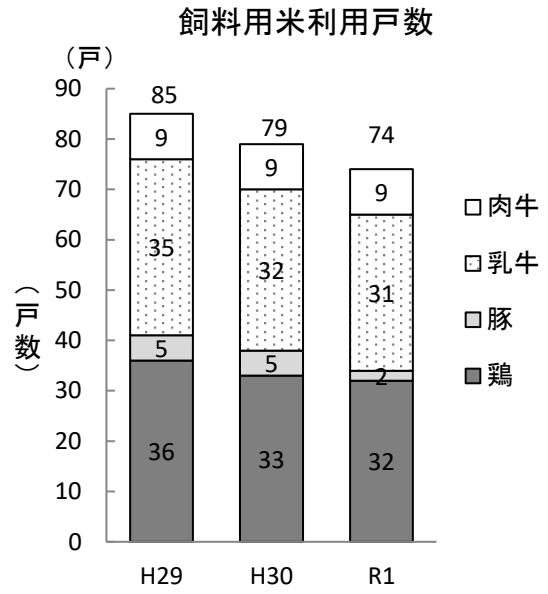
県内産のいろいろなはちみつ

## 5 自給飼料

### (1) 飼料用稲の生産及び利用状況 ア 飼料用米



資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

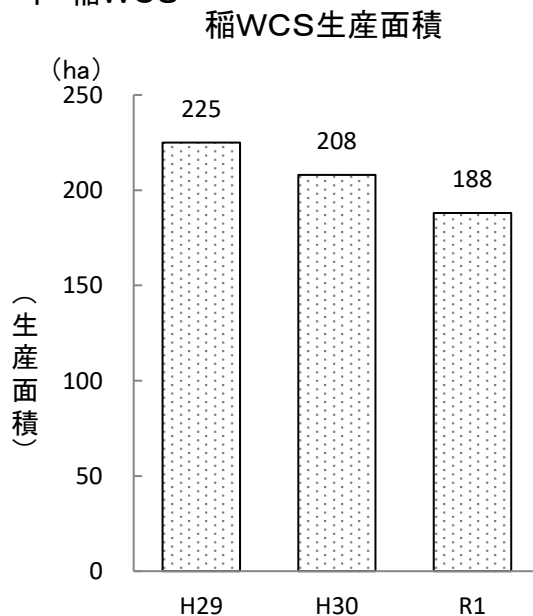


資料: 県畜産振興課

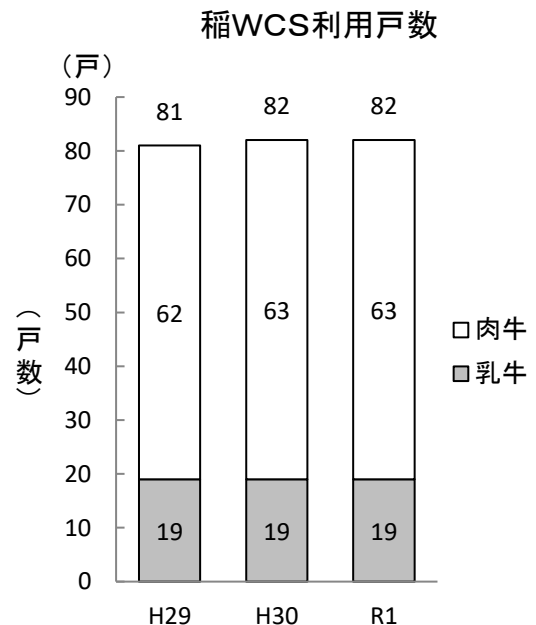
#### 飼料用米の生産は横ばい、利用農家数は減少傾向

平成19年に始まった飼料用米生産は西濃地域を中心に作付が拡大してきたが、令和元年度は前年と比べ0.5%減の2,336haと横ばいに推移している。飼料用米を利用する畜産農家戸数は平成28年度以降、減少傾向となり、令和元年度は74戸で利用されている。

### イ 稲WCS



資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」



資料: 県畜産振興課

#### 稲WCSの生産は減少傾向、利用農家数は横ばい

稲発酵粗飼料（稲WCS）の生産は、当初、岐阜・西濃地域を中心に作付が拡大してきたが、近年、飛騨地域を中心に生産が増加している。平成29年以降は生産はやや減少傾向で、令和元年度は188haで作付けされている。稲WCSを利用する畜産農家戸数は横ばい傾向にあり、令和元年度は82戸で利用されている。

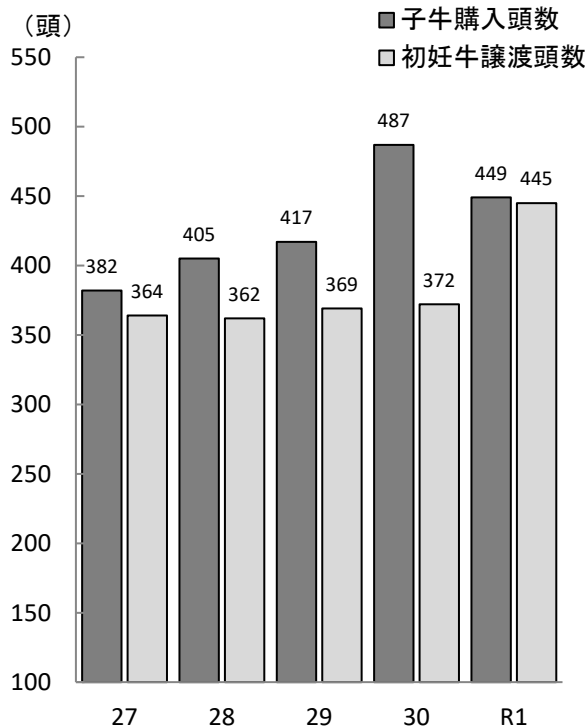
## 6 岐阜県家畜育成牧場

### (1) 牧場の概要

	東濃牧場	飛驒牧場
事業の内容	優良乳用初妊牛の育成譲渡	和牛繁殖改良基礎雌牛の生産譲渡
牧場の範囲	恵那市 (旧恵那市) (旧恵那郡岩村町)	高山市 (旧大野郡清見村) (旧大野郡荘川村)
総面積	229.1ha	368.3ha
標高	630～700m	1,100～1,400m
採草放牧地面積 (草地面積)	162ha	281ha
うち採草地	53ha	44ha
うち放牧地	109ha	237ha

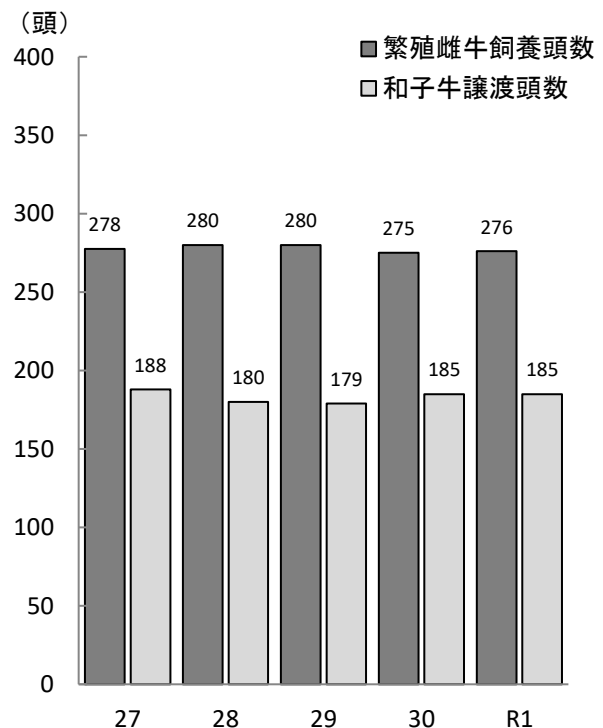
### (2) 家畜の譲渡頭数等の推移

年度別子牛購入・初妊牛譲渡頭数  
(東濃牧場)



資料: (一社)岐阜県農畜産公社

年度別肉用牛繁殖雌牛飼養頭数・和子牛譲渡頭数  
(飛驒牧場)



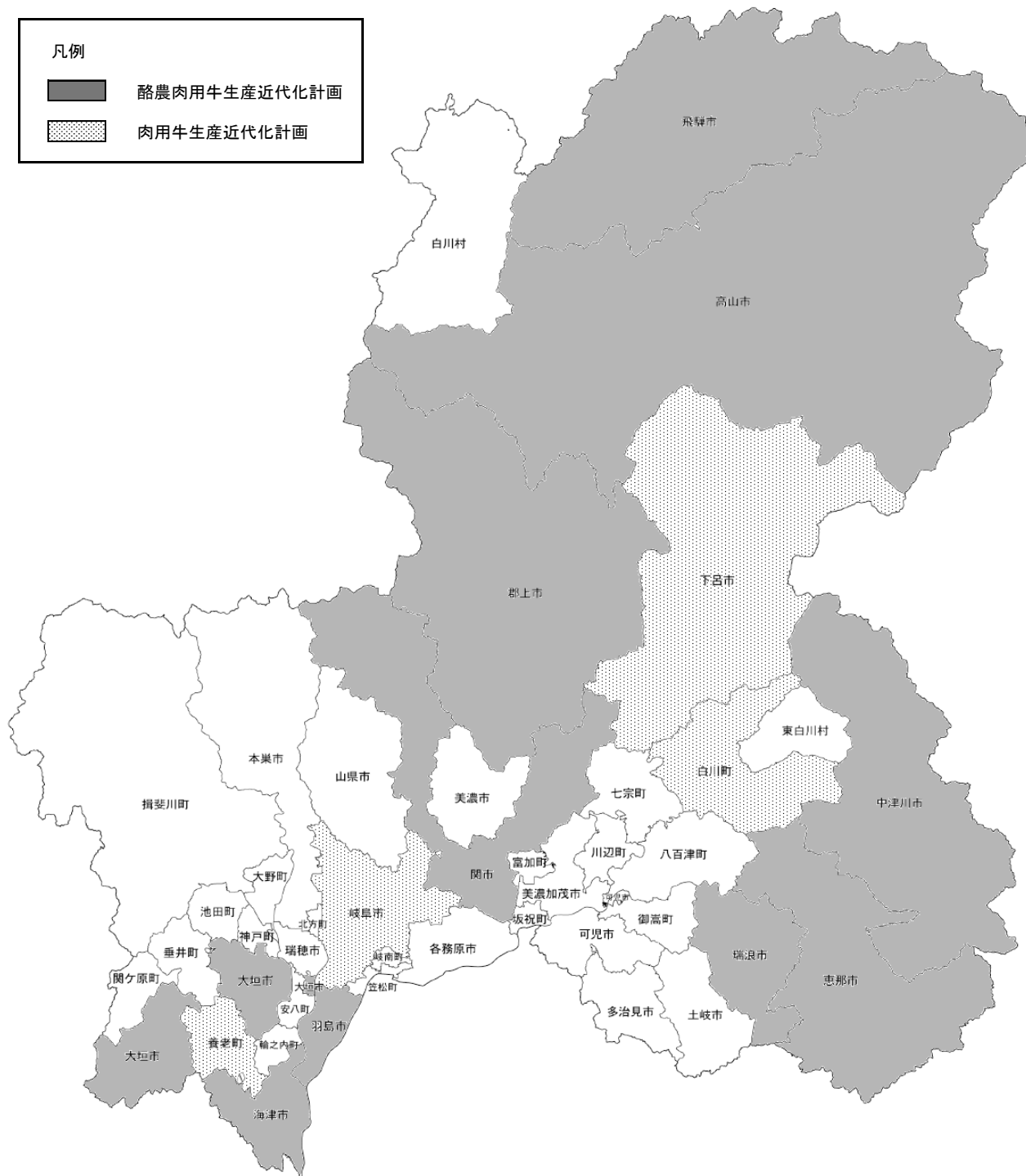
資料: (一社)岐阜県農畜産公社

岐阜県は、大家畜資源の確保及び畜産経営の合理化を図るため、東濃及び飛驒地区に国の共同利用模範牧場設置事業により家畜育成牧場を建設した。

昭和48年4月に社団法人岐阜県畜産開発公社が設立(平成11年4月1日に財団法人岐阜県農業公社と合併し、社団法人岐阜県農畜産公社となる。また、平成25年4月1日には、一般社団法人に移行。)され、牧草地を利用して優秀な子牛を育成し、農家へ供給する家畜育成事業を実施している。

年度別実績は、上図のとおり。

## 7 畜産生産振興地域指定市町村分布(令和2年12月末現在)



資料: 県畜産振興課

## 8 家畜衛生

### (1) 家畜伝染病発生状況

対象家畜 病名 年次	牛(頭)			馬(頭)	豚(頭)		鶏(羽)			みつばち(群)
	ブルセラ病	結核病	ヨーネ病	馬伝染性 貧血	豚熱	流行性 脳炎	高病原性鳥 インフルエンザ	ニュー カッスル病	家さん サルモネラ 感染症	腐蛆病
昭和31～40	14	106		89	1,009				264,710	1,439
41～50	2	16		34				23,591	1,073	1,171
51～63	2	9		4	414				146	1,081
平成元～10	2	2								347
11～20			13			1				57
21			4							
22										9
23										1
24										
25			1							
26			1							3
27										6
28										3
29							7			2
30					7					1
令和元					36					

資料：県家畜防疫対策課

県内では、平成30年次に引き続き豚熱の発生があり、平成31年1月から9月までに16戸36頭が確認されている。防疫措置にあたっては、県職員、自衛隊、警察等のべ25,088人が作業に従事した。野生いのししでは継続的に発生し、いのしし対策を含め、本病のまん延防止対策に努めている。

一方で、ワクチン接種を開始した10月以降は農場での発生は確認されていない。

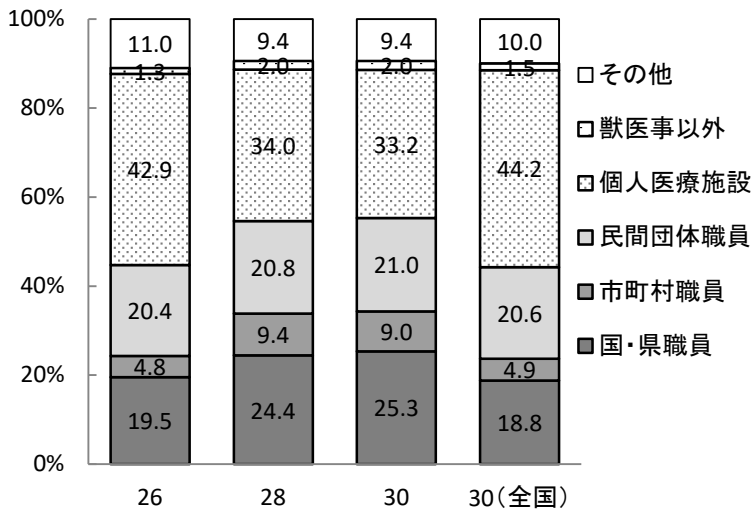
なお、国内では流行性脳炎(1県1頭)、牛ヨーネ病(23道県1,066頭)、めん羊ヨーネ病(1道2頭)、山羊ヨーネ病(2県6頭)、豚熱(7県102頭)、腐蛆病(9府県104群)の発生があった。

令和2年には家畜伝染病予防法が改正され、全国的に発生予防対策やまん延防止対策の強化が図られている。また、口蹄疫、牛海綿状脳症、豚熱及び高病原性鳥インフルエンザなどの重要疾病について防疫指針が改正され、発生防止に努めている。

引き続き検査・指導を強化し、家畜伝染病の発生防止及び本県への侵入防止を図る。

(2) 獣医事

ア 獣医師の就業状況



資料: 農林水産省「獣医師の届出状況(獣医師数)」

イ 飼育動物診療施設の状況  
(令和2年3月末現在)

地域	診療施設数	
	うち産業動物	
中央	136	23
中濃	43	15
東濃	16	4
飛騨	33	21
計	228	63

資料: 県家畜防疫対策課

県内の獣医師の届出数(平成30年12月)は総勢647名で、うち農林畜産関係に従事する獣医師は150名(23.2%)であった。前回届出数(平成28年12月)に比べ、2名減少した。

全国の獣医師の届出数(平成30年12月)は総勢39,710名で、うち農林畜産関係に従事する獣医師は7,753名(19.5%)であり、県内の農林畜産関係に従事する獣医師の比率は全国と比べるとやや高い。

(3) 動物用医薬品販売業者等数

令和2年3月末現在

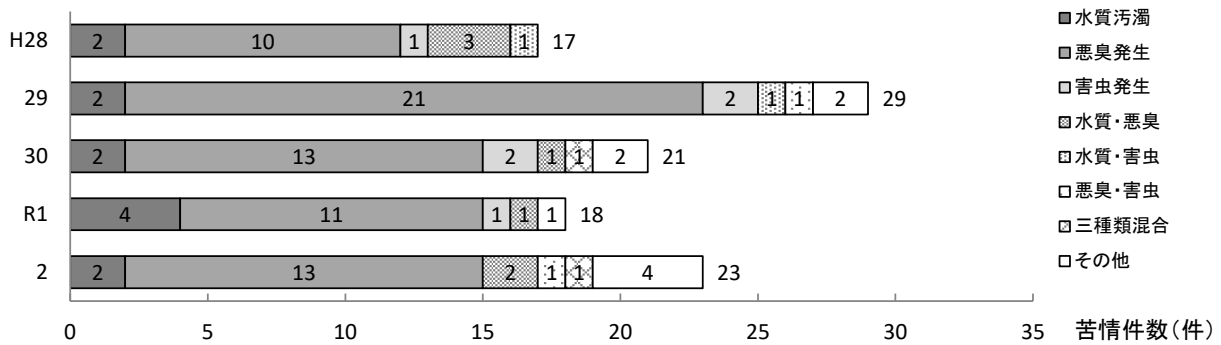
区分	家保	中央	中濃	東濃	飛騨	計
店舗販売業		23	0	4	2	29
卸売販売業		9	1	1	1	12
特例店舗販売業		46	27	24	18	115
計		78	28	29	21	156
管理医療機器販売・貸与業		32	1	3	2	38
高度管理医療機器販売・販売業		7	1	0	2	10
計		39	2	3	4	48
動物用医薬品製造業		2	1	0	3	6
動物用医薬部外品製造業		0	1	0	0	1
動物用医療機器製造業		1	5	1	0	7
動物用医薬品製造販売業		0	0	0	0	0
動物用医薬部外品製造販売業		0	0	0	0	0
動物用医療機器製造販売業		1	4	0	0	5
計		4	11	1	3	19
動物用医療機器修理業		10	0	0	0	10
計		10	0	0	0	10
総計		131	41	33	28	233

資料: 県家畜防疫対策課



## 9 環境保全対策

### (1) 畜産経営に起因する苦情発生件数の推移



苦情の畜種別発生件数(令和2年度※注1)

	水質汚濁	悪臭発生	害虫発生	水質・悪臭	水質・害虫	悪臭・害虫	三種類混合	その他	合計(割合)
牛	2	8	0	0	0	0	1	3	14 (60.9%)
豚	0	1	0	2	0	0	0	0	3 (13.0%)
鶏	0	4	0	0	0	1	0	0	5 (21.7%)
その他※注2	0	0	0	0	0	0	0	1	1 (4.3%)
合計(割合)	2 (8.7%)	13 (56.5%)	0 (.0%)	2 (8.7%)	0 (.0%)	1 (4.3%)	1 (4.3%)	4 (17.4%)	23 (100.0%)

資料: 県畜産振興課

注1: 調査期間はR1.7.1~R2.6.30

注2: その他は、アヒル

### 苦情発生件数は前年度と比較し増加

令和2年度における畜産経営に起因する苦情発生件数は、前年度より増加し23件であった。その畜種別内訳は上記表のとおりであり、鶏は前年度と同数、豚は3件減少したが牛は7件増加した。苦情の種類では、悪臭発生が最も多く、水質と悪臭など複合的な内容の苦情も散見された。なお、これらの苦情に対しては、処理衛生技術指導等の対策を行った。

### (2) 畜種別の糞尿処理状況

総排せつ物量(令和元年度) 849千t

#### ア 固形物

畜種	処理量 (千t/年)	処理方法別 内訳(千t/年) ( )内は割合			
		発酵	乾燥	焼却	その他
牛	385	377 (98%)	4 (1%)	0 (%)	5 (1%)
豚	75	74 (99%)	1 (1%)	0 (%)	0 (%)
鶏	260	222 (85%)	16 (6%)	20 (8%)	2 (1%)
合計	720	673 (93%)	21 (3%)	20 (3%)	7 (1%)

#### イ 液状物

畜種	処理量 (千t/年)	処理方法別 内訳(千t/年) ( )内は割合		
		液肥	浄化	その他
牛	10	3 (31%)	2 (24%)	4 (45%)
豚	119	4 (4%)	110 (93%)	4 (4%)
合計	129	7 (6%)	113 (88%)	9 (7%)

資料: 県畜産振興課

注: なお、四捨五入表示をしているため、各内訳を積み上げた数値は合計の数値と一致しない場合がある。

### 総排せつ量の85%が固形物

令和元年度における家畜糞尿の処理状況は、総排せつ量849千tの約85%に当たる720千tが固形物として処理され、残り約15%に当たる129千tが液状物として処理された。

固形物では、各畜種とも9割以上が発酵及び乾燥処理されており、計694千tが農地還元による再利用が行われた。液状物は、7千tが液肥として農地還元による再利用が行われ、約88%に当たる113千tが浄化処理された。

## 10 畜産コンサルタント事業

診断件数	H29	H30	R1
酪農	6	5	2
肉用牛	11	10	7
養豚	3	2	1
養鶏	1	1	1
計	21	18	11

資料：県畜産振興課

令和元年度畜産コンサルタント事業の実施件数は11件である。  
畜産コンサルタントによつて的確に経営分析され、具体的な助言指導が実施された。

## 11 家畜の改良と増殖

### (1) ブロック別家畜登録状況(令和元年度)

ホルスタイン登録			和牛登録			種豚登録		
取扱団体	登録数	血液型検査等	分室	登録数	遺伝子型検査等	地域	登録数	県外への移動等
岐阜酪農組合	56	403	美濃事業分室	2,239	1,307	岐阜地域	0	0
羽島市	29					西濃地域	0	
海津市	0					中濃地域	23	
美濃酪連	307		東濃地域	0				
飛騨酪農協	216		飛騨地域	0				
飛騨市	0							
個人	16							

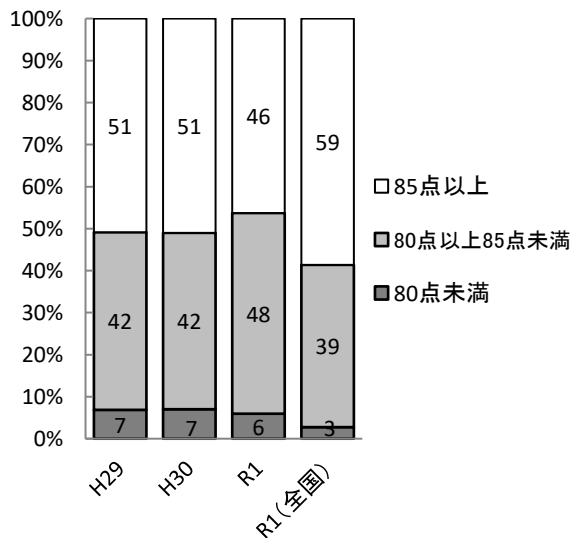
資料：(一社)岐阜県畜産協会

令和元年度家畜登録件数は、ホルスタイン1,027件、和牛9,725件、豚23件の合計10,775件であった。前年に比べると、ホルスタインが160件の減少、和牛が11件の減少であった。

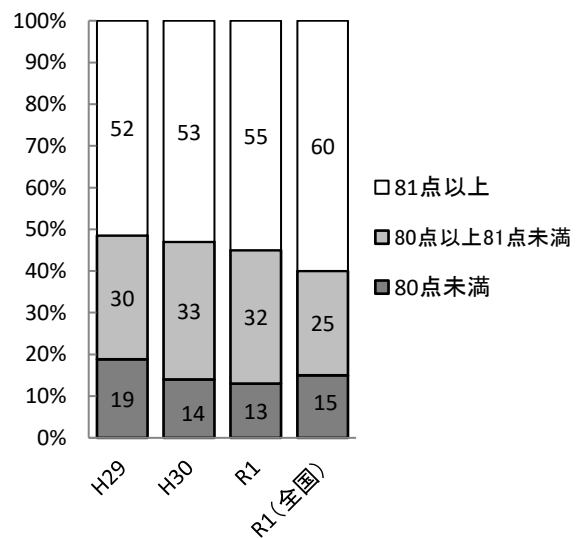
血統登録(ホルスタイン)が13.5%の減少、基本・本原登録(和牛)が0.1%の減少であった。

### (2) 得点別登録状況

#### ホルスタイン牛群審査



#### 和牛基本・本原登録

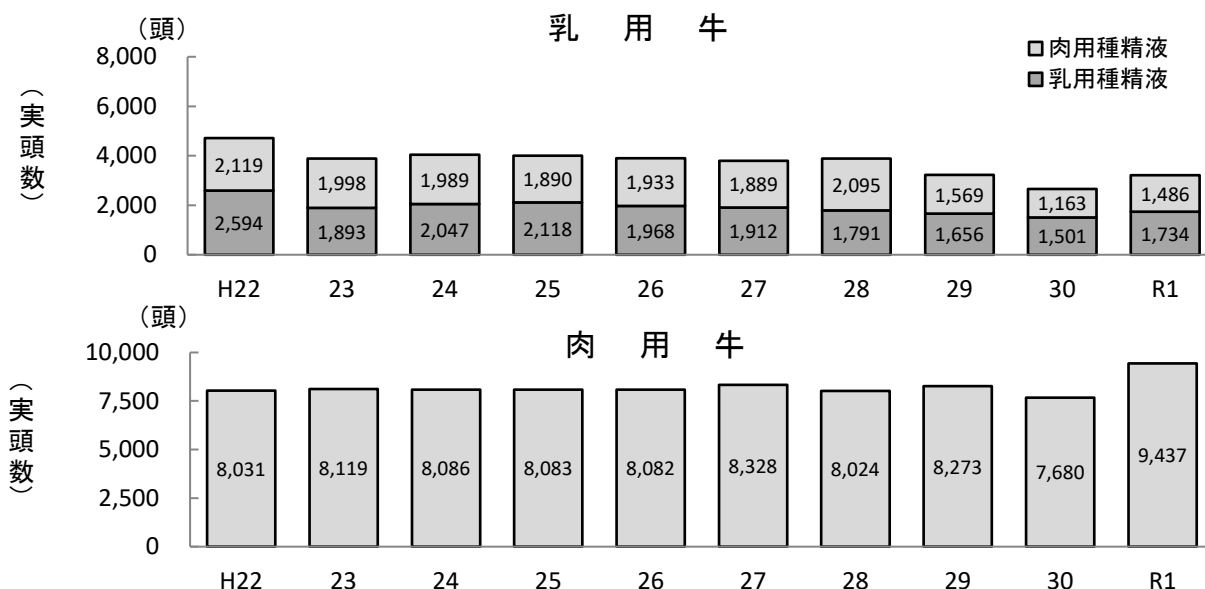


\* 全国データ：(一社)日本ホルスタイン登録協会、(公社)全国和牛登録協会

資料：(一社)岐阜県畜産協会

令和元年度の体型得点は、ホルスタインが80点以上94%、和牛では80点以上が87%を占めている。

### (3) 人工授精頭数の推移

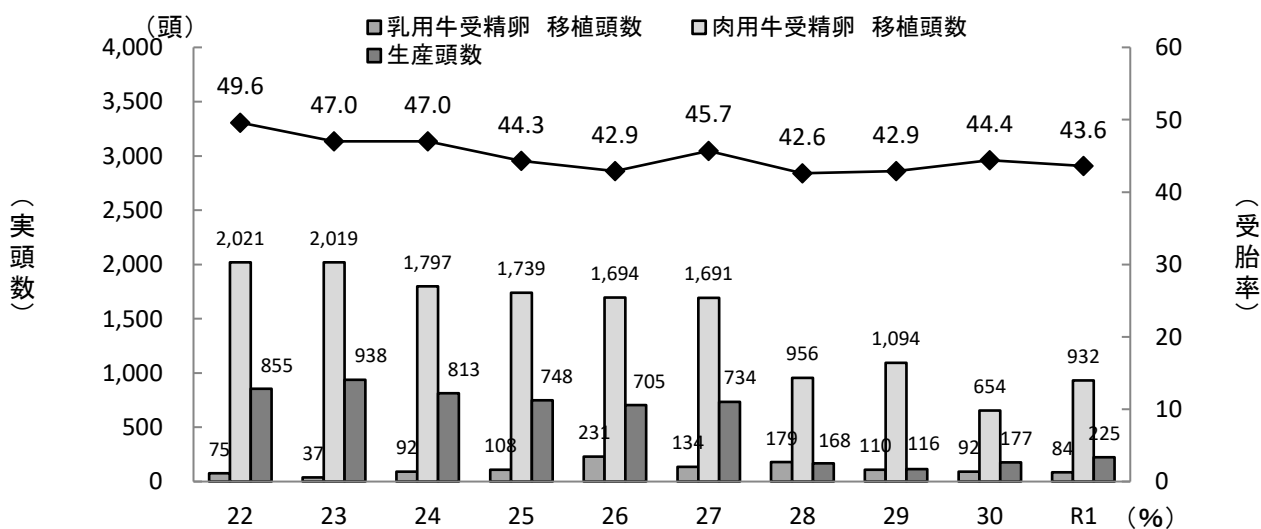


資料：県家畜防疫対策課

### 乳用牛、肉用牛ともに増加

令和元年の人工授精頭数は、乳用牛では総頭数が3,220頭であり、前年に比べて肉用種精液及び乳用種精液による授精頭数はともに増加した。  
肉用牛では総頭数が9,437頭であり、前年と比較して増加した。

### (4) 受精卵移植成績の推移



資料：県家畜防疫対策課

### 移植頭数、生産頭数は増加の一方、受胎率はわずかに減少

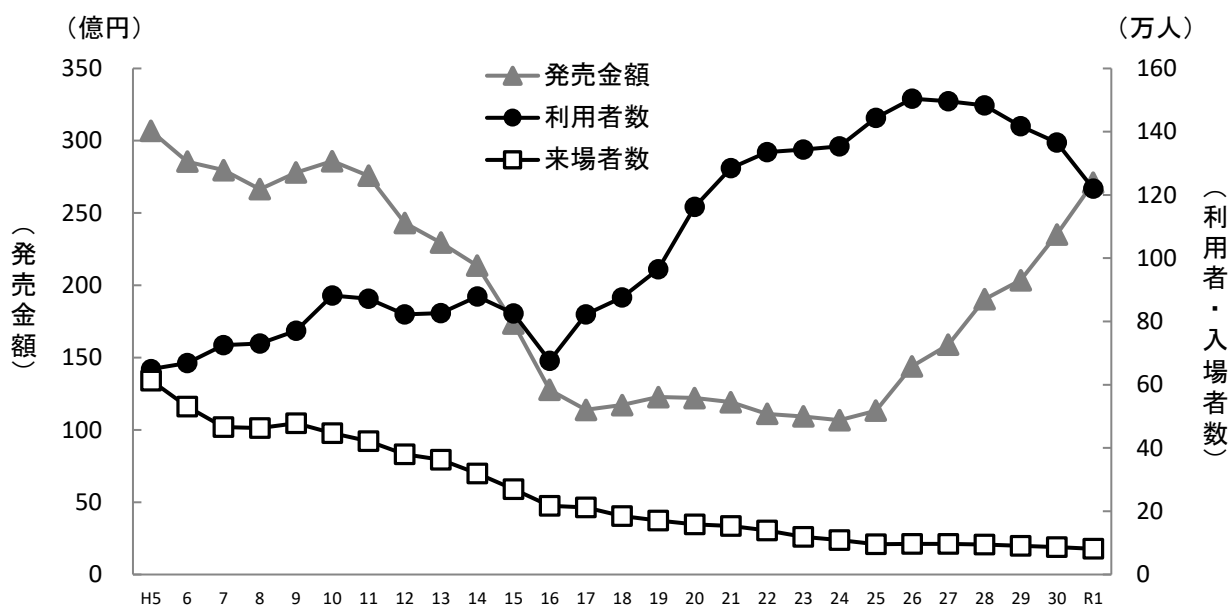
令和元年度体内受精卵移植頭数は、1,016頭(乳用牛受精卵84頭、肉用牛受精卵932頭)で、対前年比136%であった。乳用牛受精卵は、乳用牛81頭、肉用牛1頭、F1 2頭に移植し、肉用牛受精卵は、乳用牛161頭、肉用牛575頭及びF1 196頭に移植した。

採卵実績は、正常卵が平成30年度1,212卵(乳用牛89卵、肉用牛1,123卵)に対し、令和元年度は、1,863卵(乳用牛206卵、肉用牛1,657卵)であった。

受胎率は平成30年度が44.4%であったのに対し、令和元年度は43.6%と減少し、生産頭数は平成30年度が177頭であったのに対し、令和元年度は225頭と増加した。

# 12 競 馬

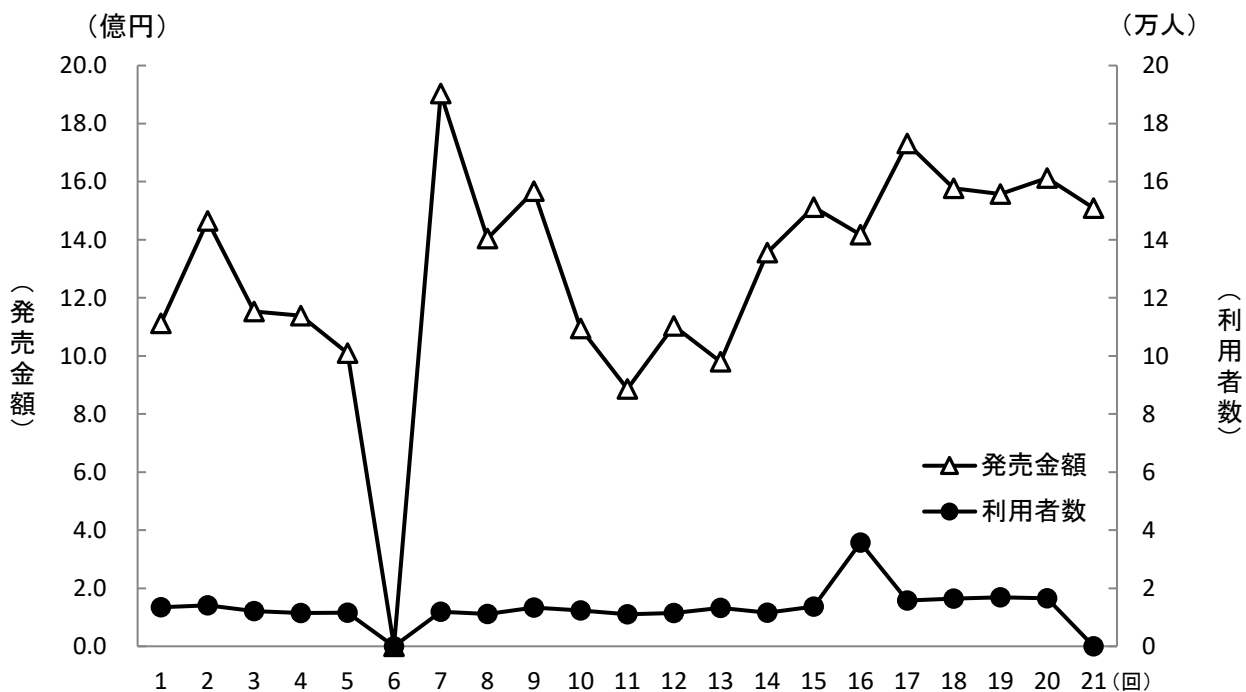
## 競馬事業成績の推移



注1: 来場者数には、シアター恵那入場者数を含まない  
 注2: 利用者数は、インターネット利用者等を含まない

資料: 県農政課笠松競馬支援室

## 令和元年度 開催別成績



資料: 県農政課笠松競馬支援室

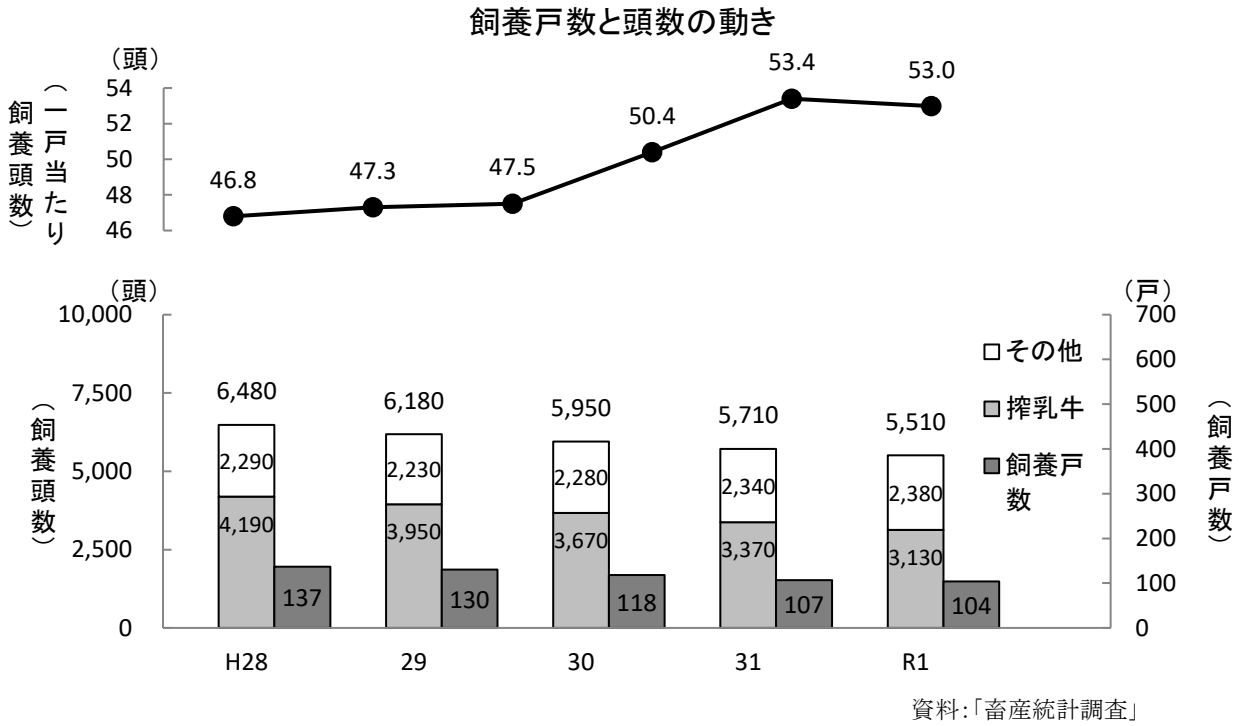
注3: 令和元年度第6回開催は開催自粛、第21回開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため無観客で開催

### 発売金額は前年に比べ増加

岐阜県地方競馬組合は、平成元年度に21回91日開催した。利用者数は、1,220,187人で前年に比べ10.7%減少、発売金額は約271億円で前年に比べ15.2%増加した。



## (2) 乳用牛の飼養戸数と頭数

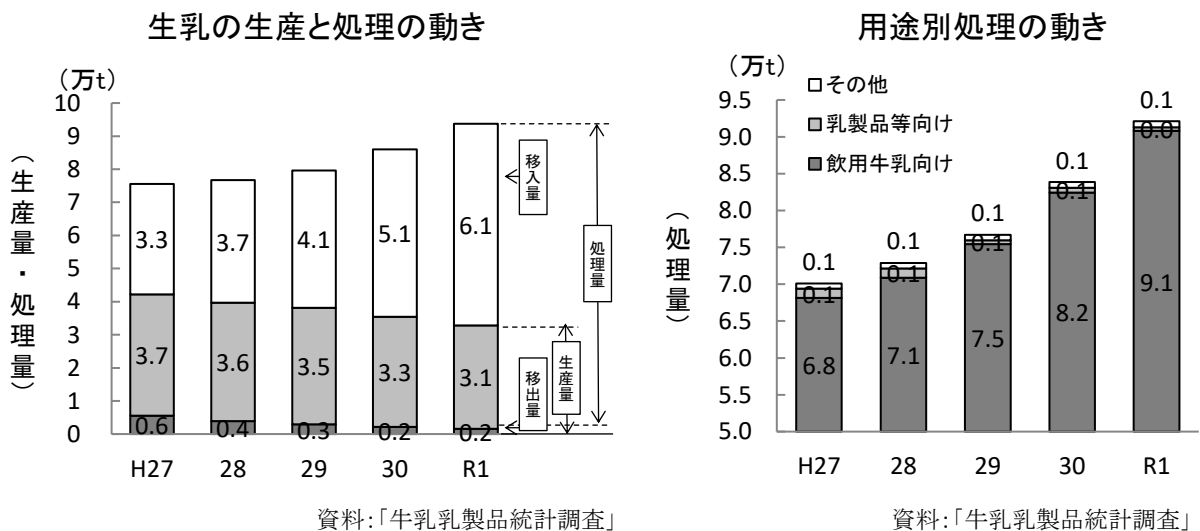


### 飼養戸数、頭数は減少、1戸当たり頭数は増加

令和2年2月1日現在の飼養戸数は104戸で、前年に比べ2.8%減少した。また飼養頭数は5,510頭で前年に比べ3.5%減少し、飼養戸数・頭数は、ともに減少傾向にある。1戸当たり飼養頭数は53.0頭と前年度並みであった。

飼養頭数のうち搾乳牛頭数は3,130頭で、前年に比べ7.1%減少した。飼養頭数に占める搾乳牛頭数の割合は、56.8%で全国の52.9%に比べ高い割合となっている。

## (3) 生乳の生産と処理量

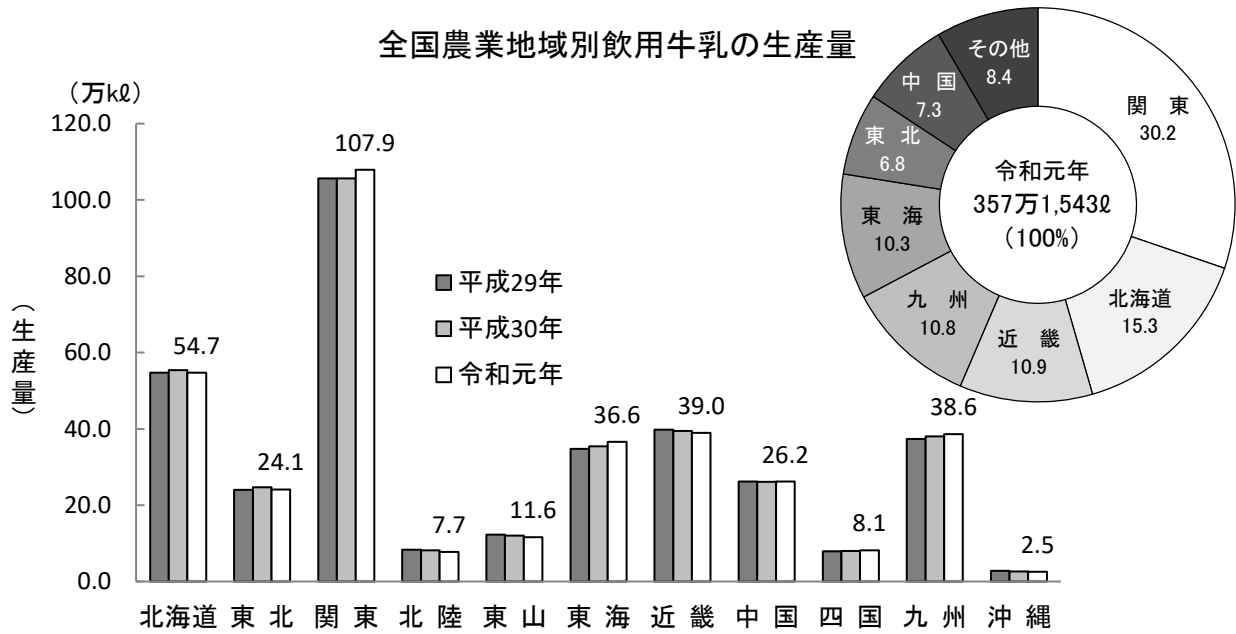


### 減少が続く生乳生産量

令和元年の生乳の生産量は、3万2,860tで前年に比べ7.2%減少した。処理量は、9万2,130tで前年に比べ9.9%増加した。

用途別処理量は、飲用牛乳向けが9万806tで前年に比べ10.1%増加した。乳製品等向け処理量が488t、その他が836tであった。この結果、飲用牛乳向け比率は、98.6%となった。

#### (4) 全国の飲用牛乳の生産

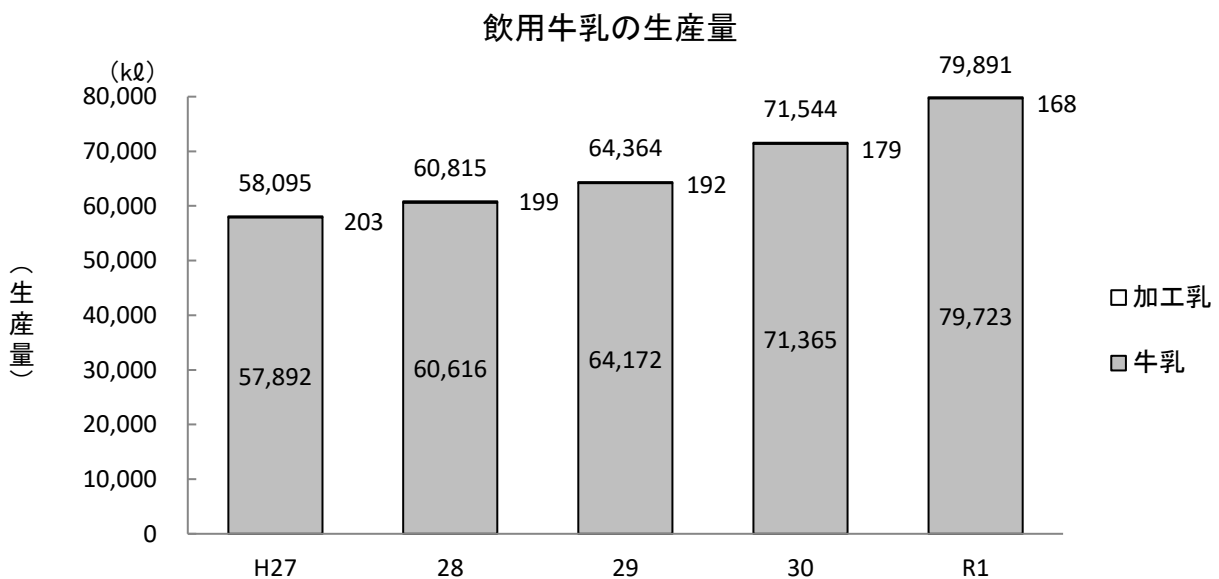


資料:「牛乳乳製品統計調査」

#### 飲用牛乳の生産量は増加

令和元年の全国の飲用牛乳生産量は357万1,543kℓとなり、前年より増加した。地域別の生産量は、大消費地を抱える関東地域が最も多く、次いで北海道、近畿の順となっている。

#### (5) 飲用牛乳の生産



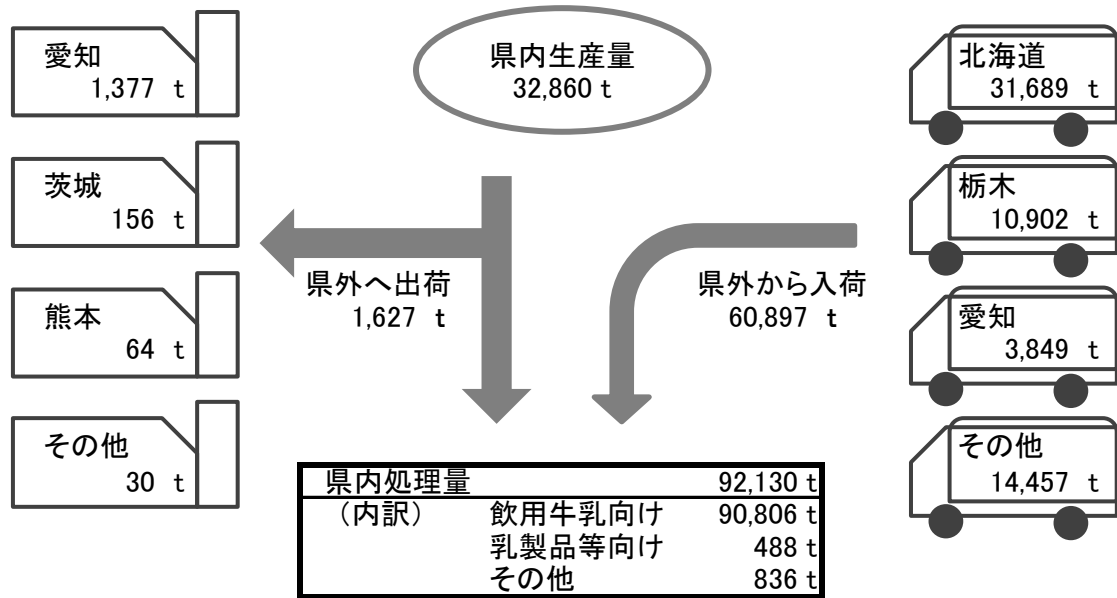
資料:「牛乳乳製品統計調査」

#### 飲用牛乳の生産量が増加

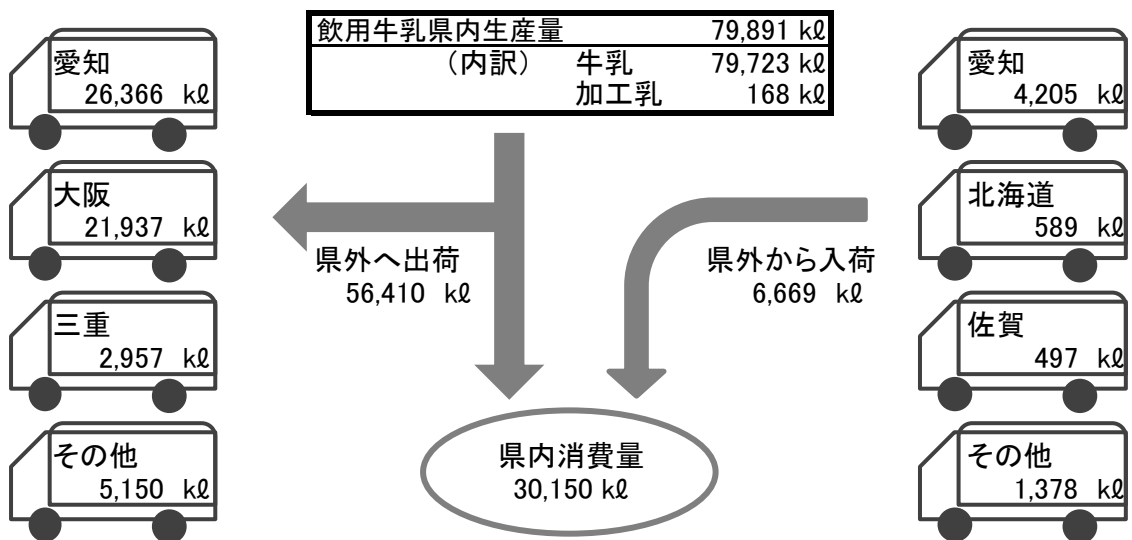
令和元年の飲用牛乳の生産量は、7万9,891kℓで前年に比べ11.7%増加した。このうち牛乳は、7万9,723kℓで11.7%増加し、加工乳は168kℓで6.1%減少した。

(6) 生乳と飲用牛乳の流通

生乳の流通経路(平成31年1月～令和元年12月)



飲用牛乳の流通経路(平成31年1月～令和元年12月)



\*「県内消費量」=「県内生産量」+「入荷量」-「出荷量」

資料:「牛乳乳製品統計調査」

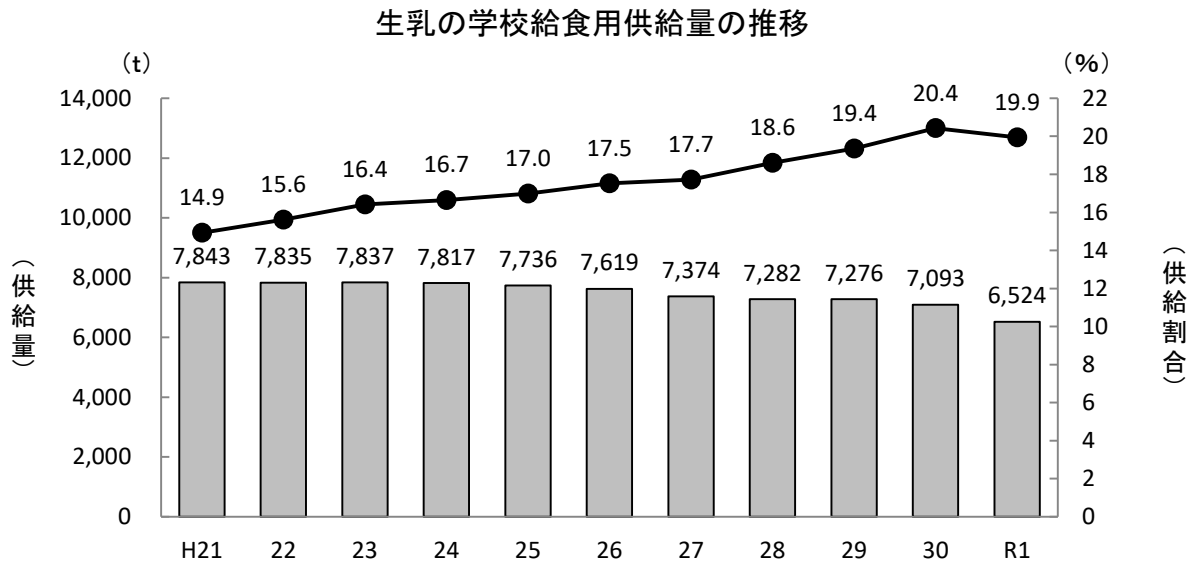
生乳の処理量は増加

令和元年に県内処理工場へ搬入された生乳は、県内で生産されたもの3万2,860tのうち95.0%に当たる3万1,233tと県外からの移入量6万897tを加えた9万2,130tが処理された。処理量は、前年に比べ9.9%増加した。

また、県内の飲用牛乳の消費量は、3万150kℓで前年に比べ3.1%減少した。



(7) 生乳の学校給食用供給量の推移



資料：県畜産振興課「学校給食用牛乳供給事業調査」

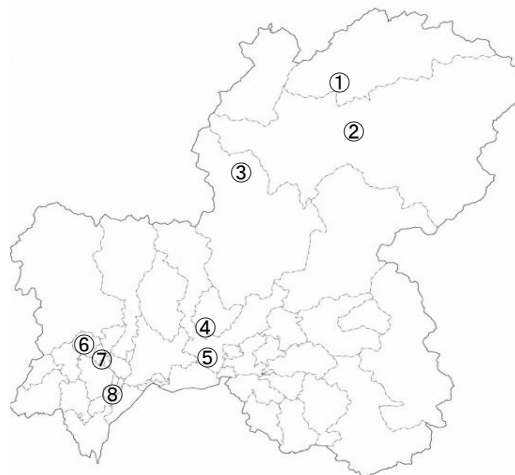
供給量は減少、供給割合はわずかに減少

令和元年度生乳の学校給食用供給量は、新型コロナによる学校の臨時休業の影響により、前年度比8.0%減の6,524tと大幅に減少した。また、生乳の総生産量に対する供給割合は、19.9%と下降した。(令和元年度県内総生産量 32,723t)

(8) 県内の学校給食用牛乳供給乳業工場

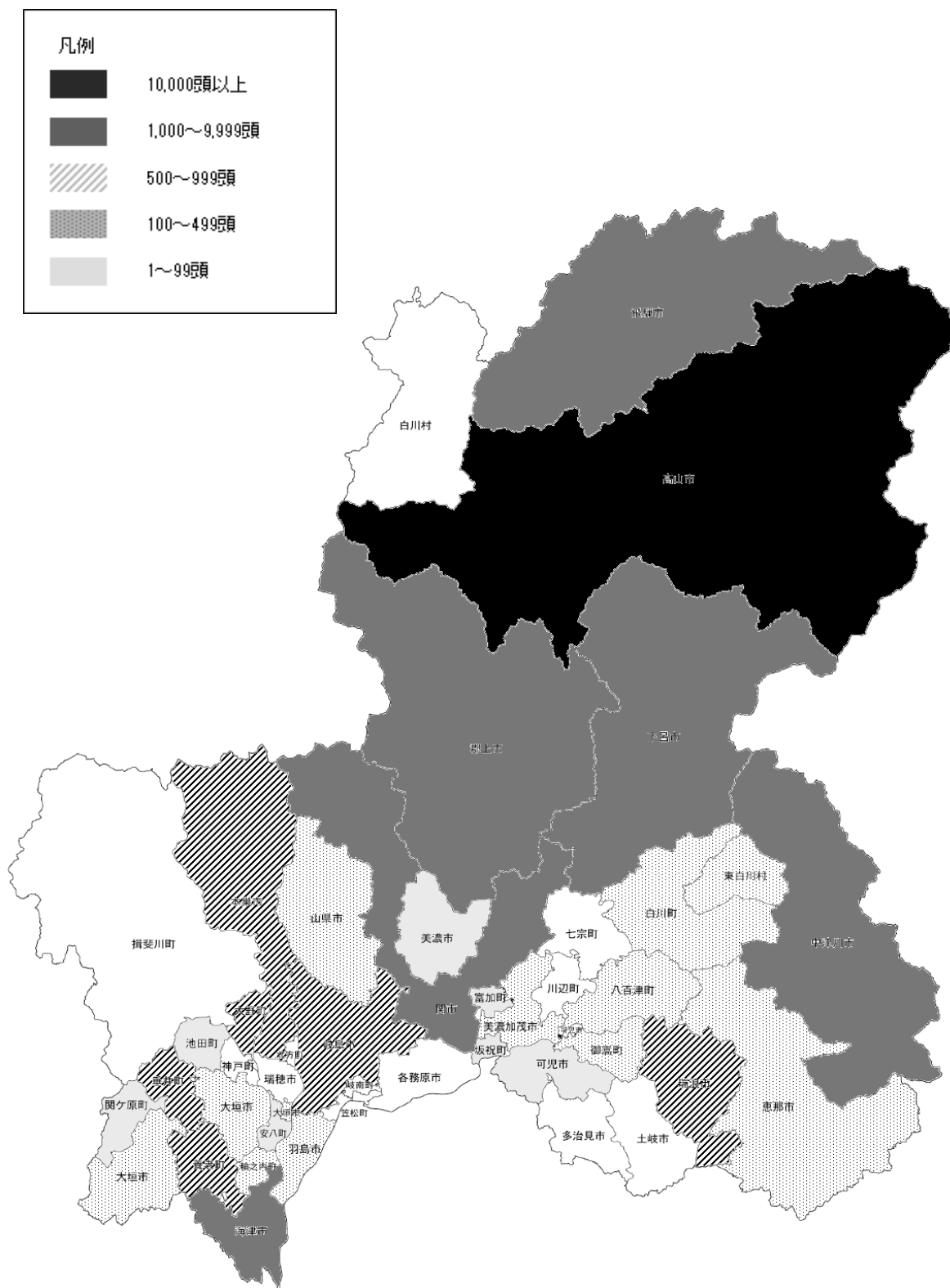
	工場名	〒	所在地	電話番号	FAX番号
①	(有)牧成舎	509-4242	飛騨市古川町増島町17-8	0577-73-2226	0577-73-4763
②	飛騨酪農農業協同組合	506-0035	高山市新宮町3369	0577-32-0208	0577-32-0315
③	(株)たかすファーマーズ	501-5301	郡上市高鷲町ひるがの4670-233	0575-73-1022	0575-73-1023
④	美濃酪農農業協同組合連合会北濃工場	501-3756	美濃市生櫛472	0575-33-4455	0575-35-1262
⑤	関牛乳(株)	501-3835	関市観音前41	0575-22-0402	0575-22-3043
⑥	(株)棚橋牧場	503-2424	揖斐郡池田町池野470	0585-45-2155	0585-45-7805
⑦	東海牛乳(株)	503-2304	安八郡神戸町丈六道66	0584-27-4131	0584-27-7511
⑧	グリコマニユファクチャリングジャパン(株)	503-0123	安八郡安八町南條1201	0584-64-2345	0584-64-4511

資料：県畜産振興課



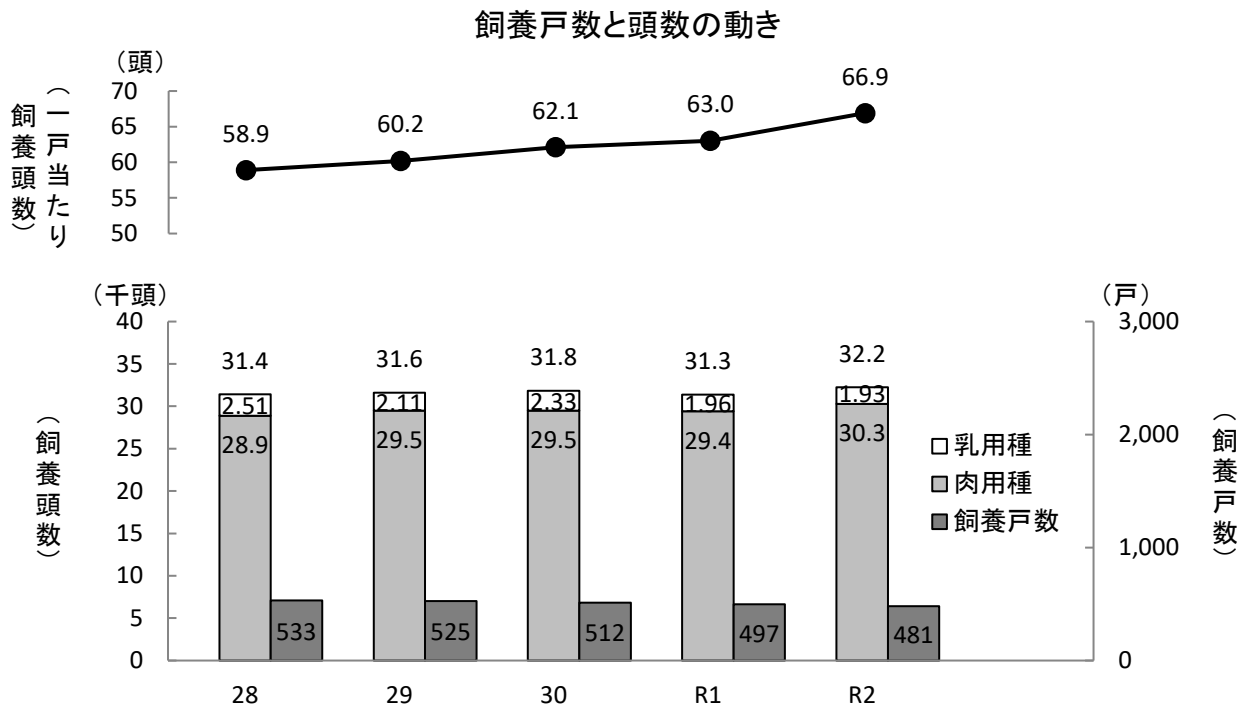
## 2 肉用牛

(1)肉用牛の飼養頭数の分布(令和2年2月1日現在)



資料: 県畜産振興課

## (2) 肉用牛の飼養戸数と頭数

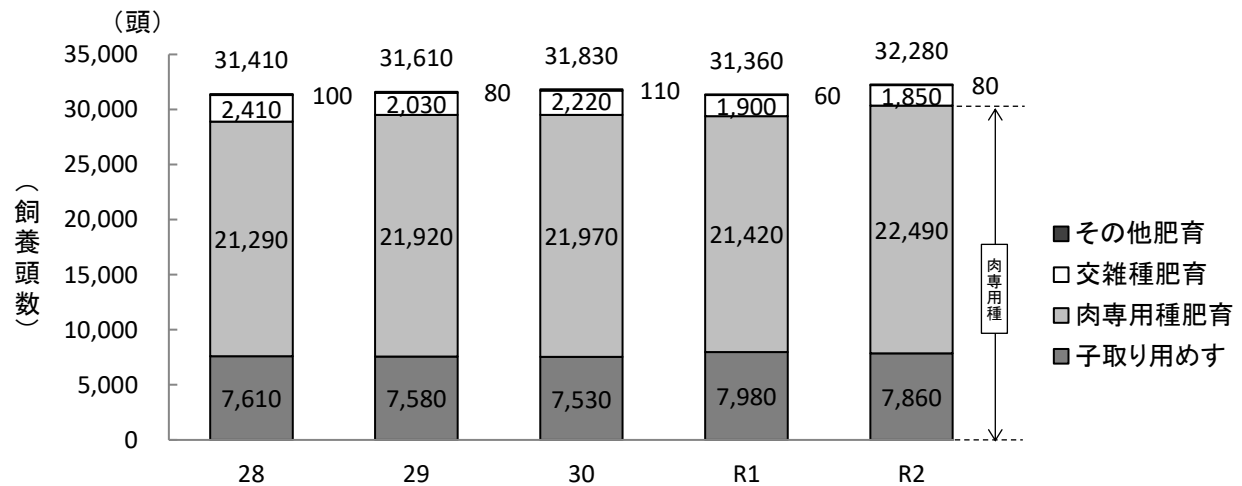


資料:「畜産統計調査」

### 飼養戸数はやや減少、1戸当たり頭数は増加

令和2年2月1日現在の飼養戸数は481戸で、前年に比べ3.2%減少した。また、飼養頭数は3万2,200頭で、前年に比べ2.9%増加した。種類別にみると、肉用種は3万300頭で前年に比べ3.1%増加した。乳用種は1,930頭で前年に比べ1.5%減少した。1戸当たり飼養頭数は66.9頭で、前年に比べ6.2%増加した。

## (3) 肉用牛の種別飼養頭数

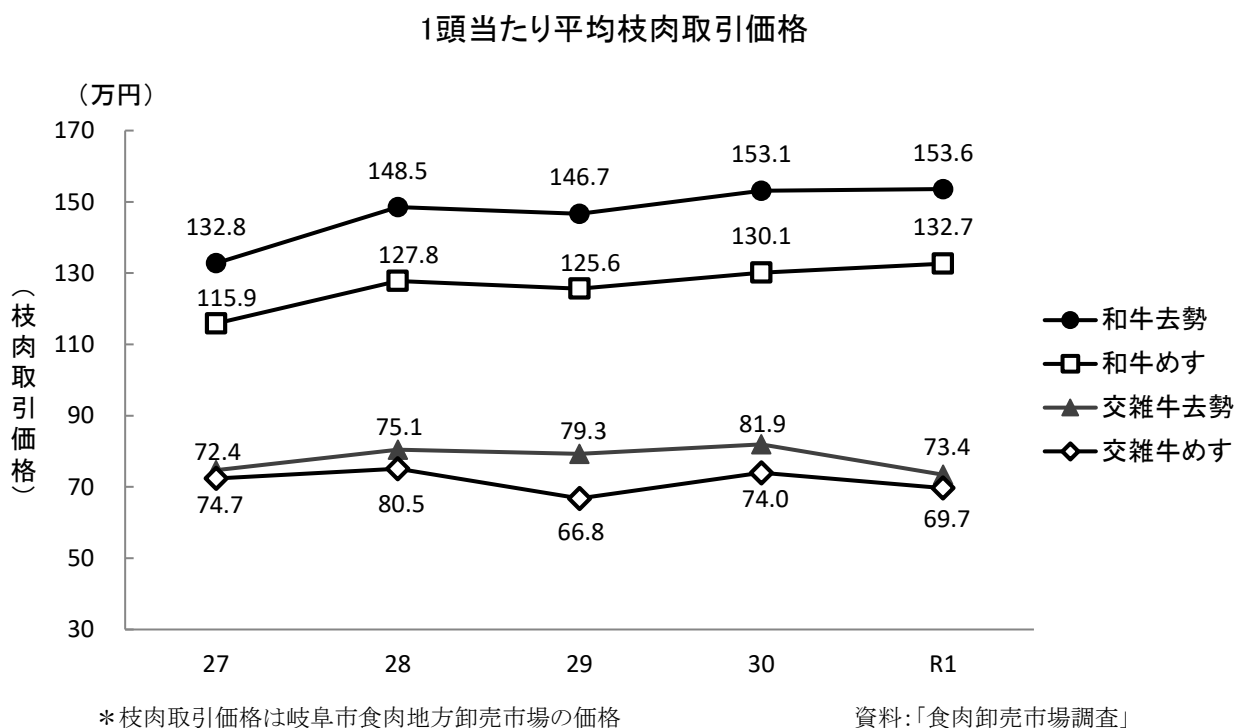
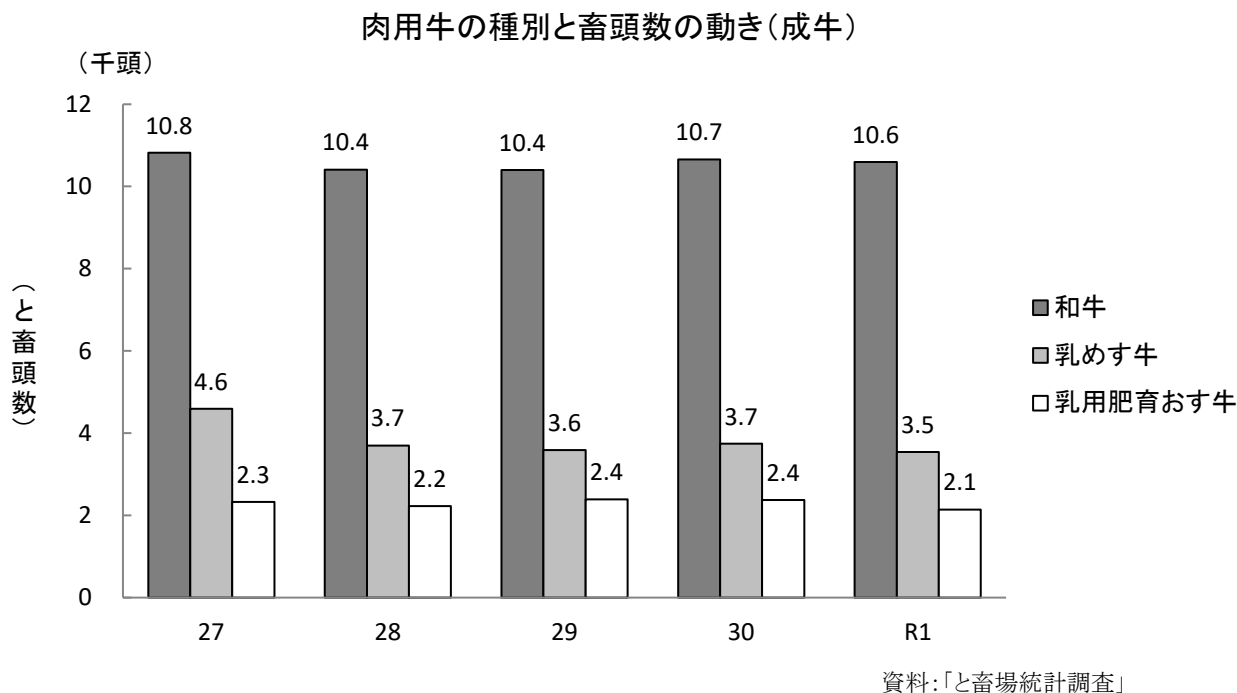


資料:「畜産統計調査」

### 子取り用めす牛飼養頭数はやや減少、交雑種肥育牛頭数は減少

子取り用めす牛飼養頭数は7,860頭で、前年に比べ1.5%減少した。また、交雑種肥育牛頭数は1,850頭で、2.6%減少した。

#### (4) 肉用牛のと畜頭数と取引価格



#### 肉用牛のと畜頭数増加、和牛の1頭当たり枝肉取引価格は上昇

令和元年の肉用牛のと畜頭数は1万6,384頭で、前年に比べ2.3%減少した。これを畜種別にみると、和牛では0.5%、乳めす牛では5.3%、乳用肥育おす牛では9.7%減少した。

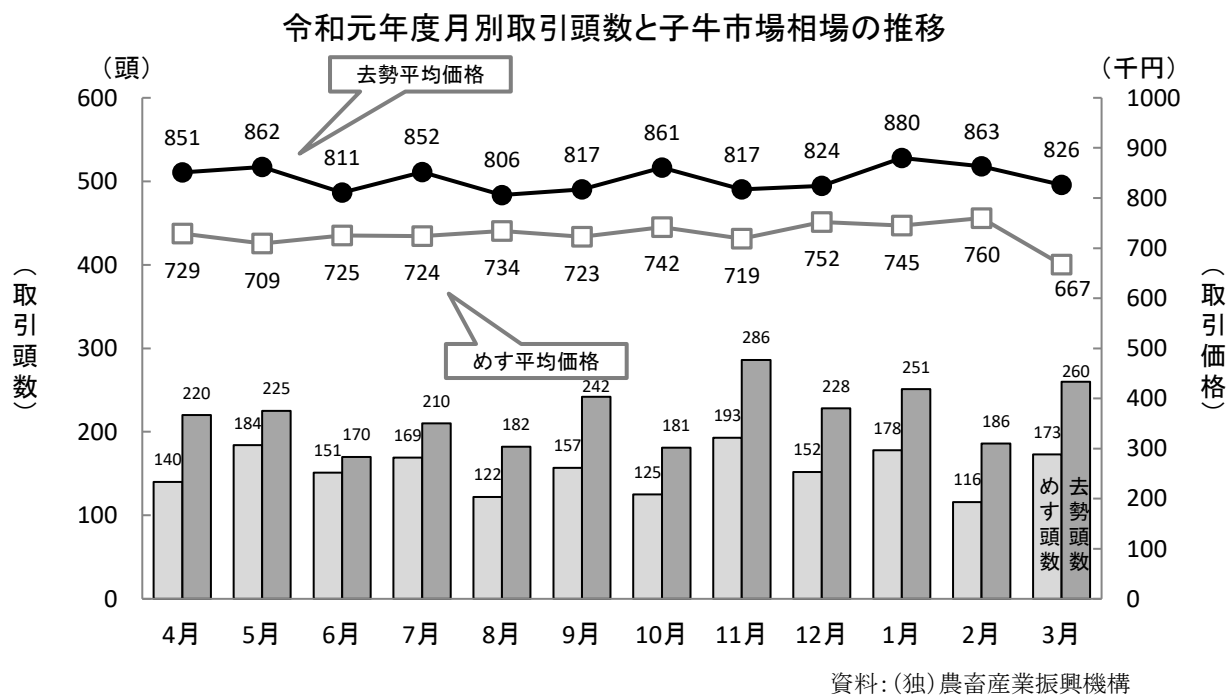
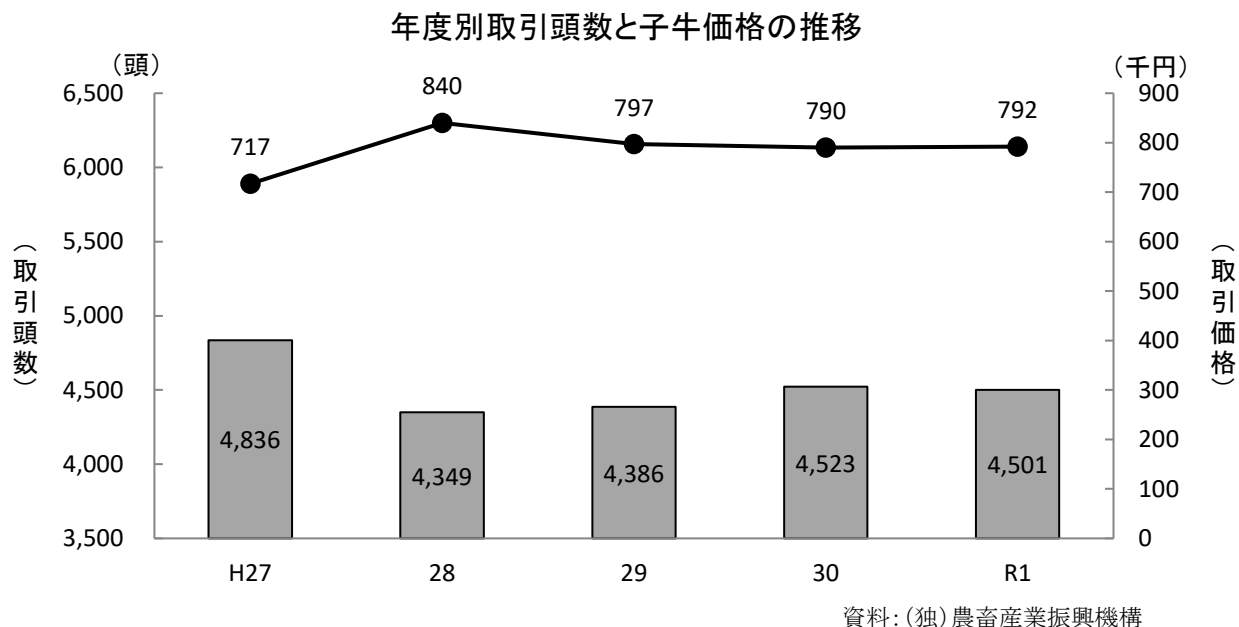
1頭当たりの平均枝肉取引価格は、和牛去勢153万5,954円、和牛めす132万6,523円、交雑牛去勢73万4,333円、交雑牛めす69万6,857円で、前年に比べ和牛去勢は0.3%、和牛めすは1.9%増加し、交雑牛去勢は10.4%、交雑牛めすは5.8%といずれも減少した。

(5) 県内の子牛市場

市場名	〒	所在地	令和元年度年間取引頭数
飛騨家畜市場	506-0001	高山市冬頭町597	2,528 頭
関家畜市場	501-3928	関市西田原字大河原441	1,973 頭

資料：(独)農畜産業振興機構

(6) 肉用子牛価格

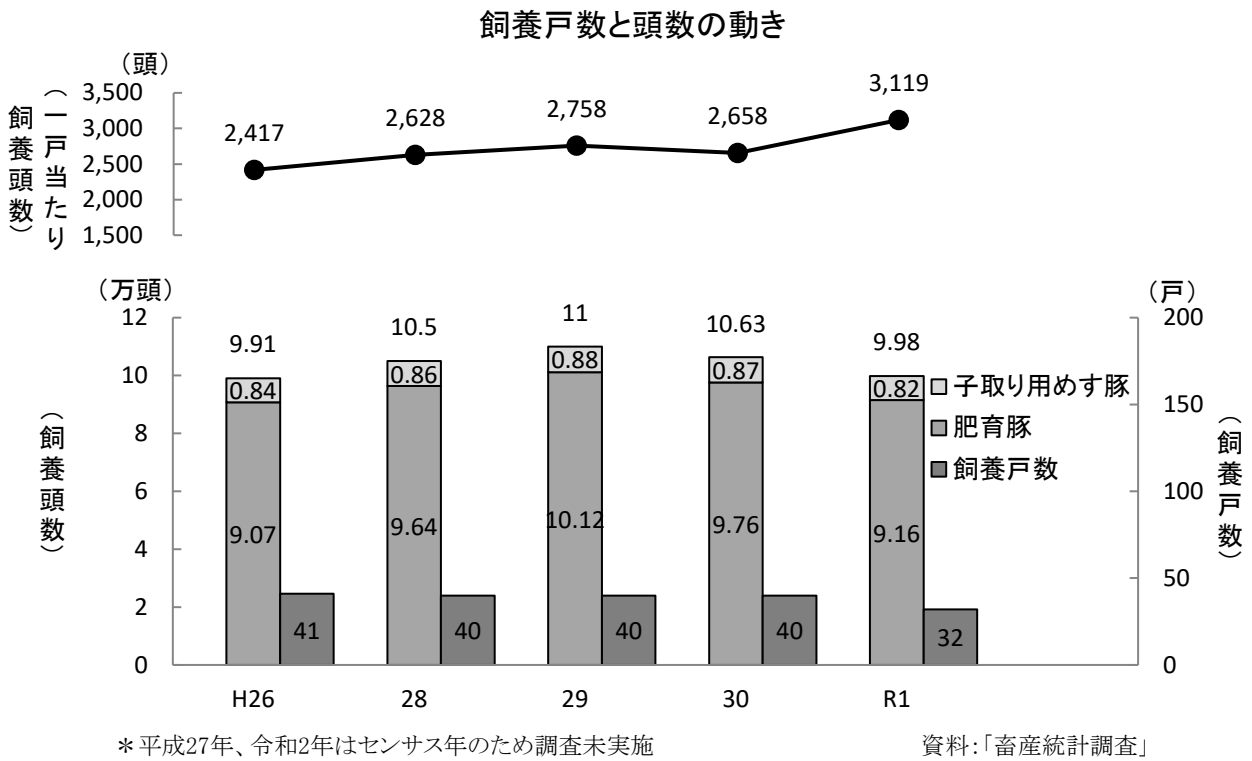


肉用子牛の取引頭数はわずかに減少、取引価格はわずかに増加

令和元年度の岐阜県内子牛市場の取引頭数は4,501頭で、前年に比べ0.5%減少した。肉用子牛価格については792千円で、前年に比べて0.3%(2千円)増加した。



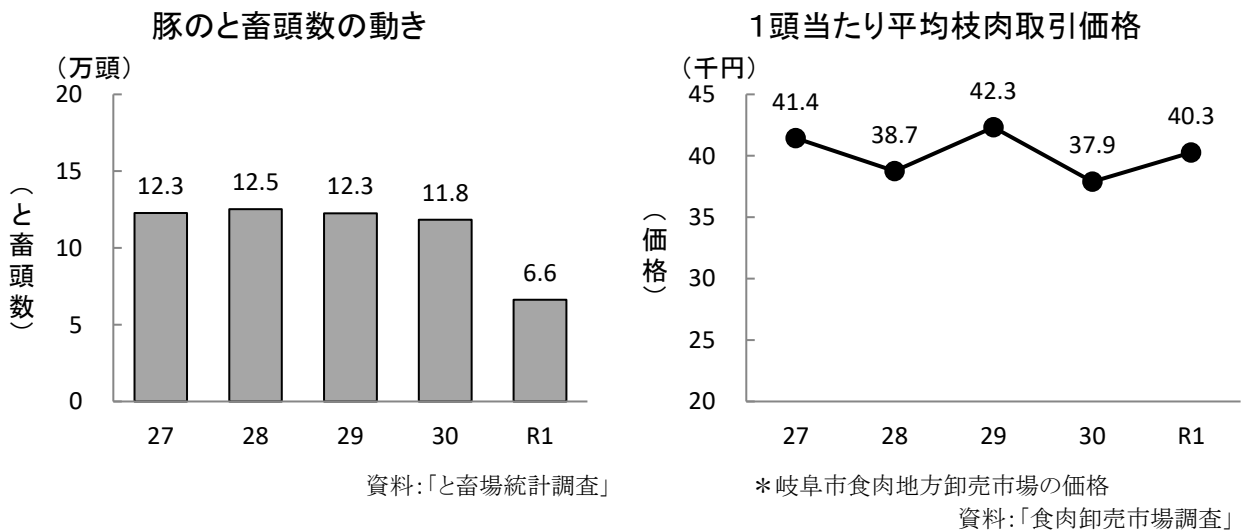
## (2) 豚の飼養戸数と頭数



### 飼養戸数、飼養頭数は減少、1戸当たり頭数は増加

平成31年2月1日現在の飼養戸数は32戸で減少、飼養頭数は9万9,800頭で6.1%減少した。1戸当たりの飼養頭数は3,119頭で、前年に比べ17.4%増加し、全国の1戸当たりの飼養頭数2,119頭を上回っている。

## (3) 豚のと畜頭数と取引価格



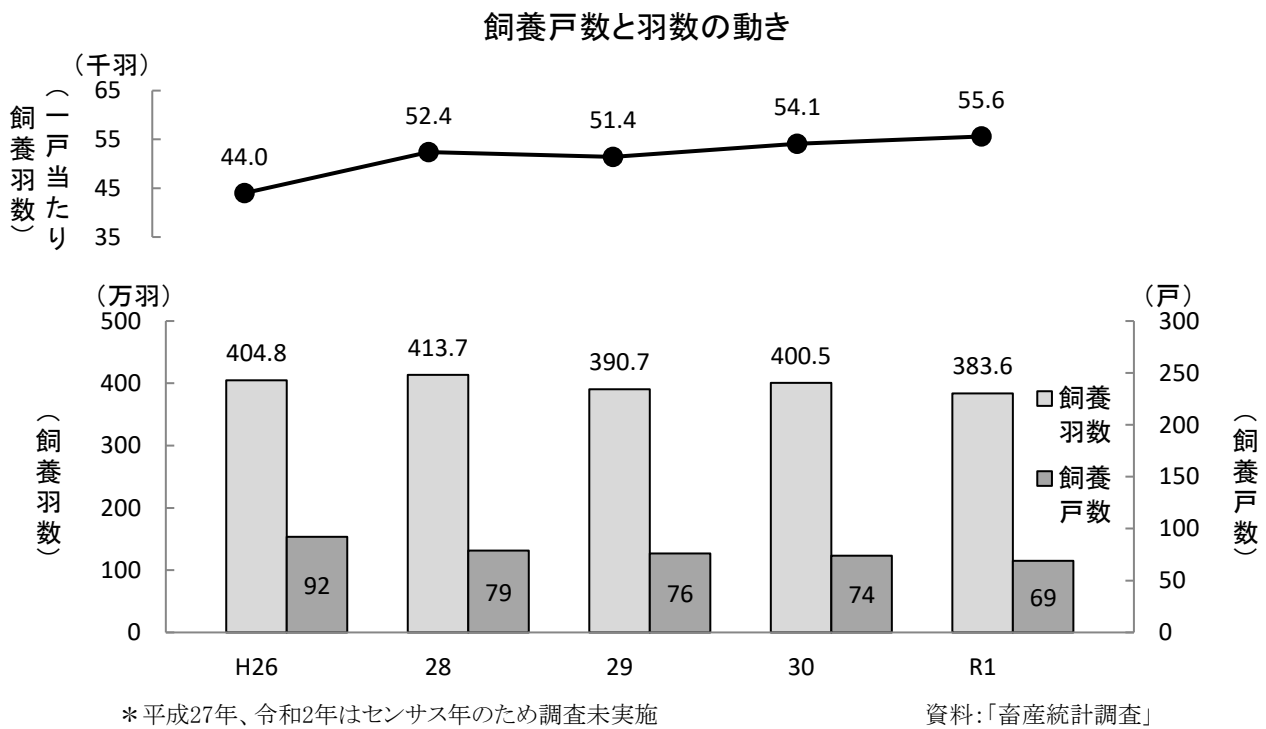
### と畜頭数は減少、1頭当たり枝肉取引価格は増加

令和元年の豚のと畜頭数は6万6,163頭で、豚熱が発生したこともあり前年と比べて44.1%減少、肉豚1頭当たり平均価格は4万225円で、前年と比べて6.2%増加した。





## (2) 採卵鶏の飼養戸数と羽数

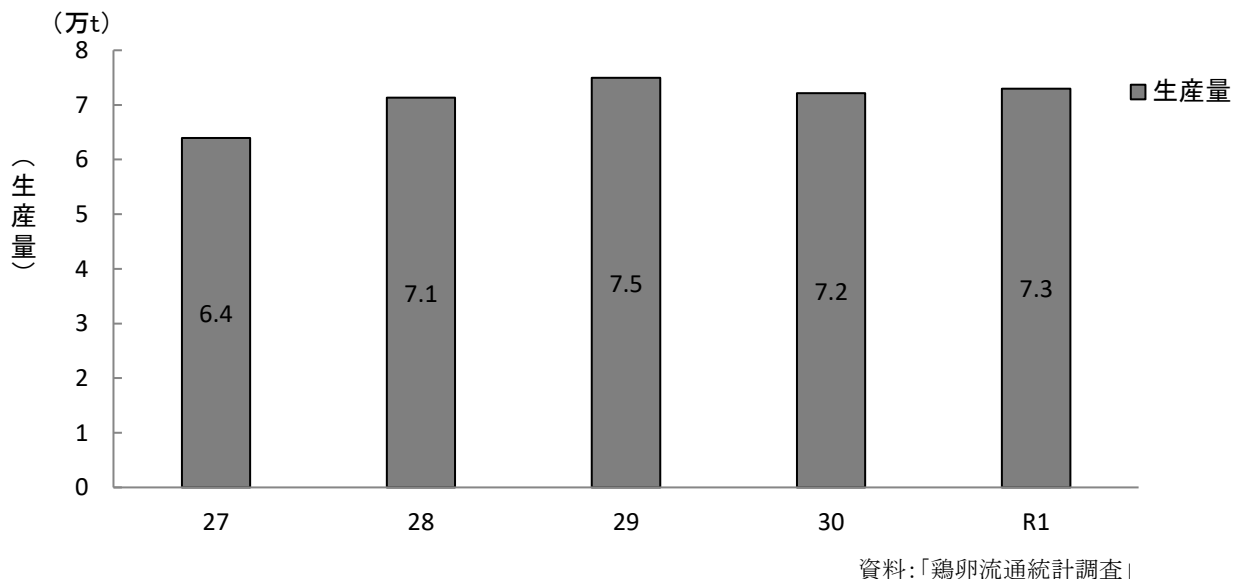


### 飼養戸数、飼養羽数は減少、1戸当たり羽数はやや増加

平成31年2月1日現在の飼養戸数(種鶏のみの飼養者を除く)は69戸で、前年に比べ6.8%減少した。成鶏めす飼養羽数(種鶏を除く)は383万6,000羽で、4.2%減少した。

なお、1戸当たり成鶏めす羽数は5万5,600羽で、前年に比べ2.8%増加した。全国の1戸当たり成鶏めす羽数は、6万6,900羽で5.9%増加した。

## (3) 鶏卵の生産量

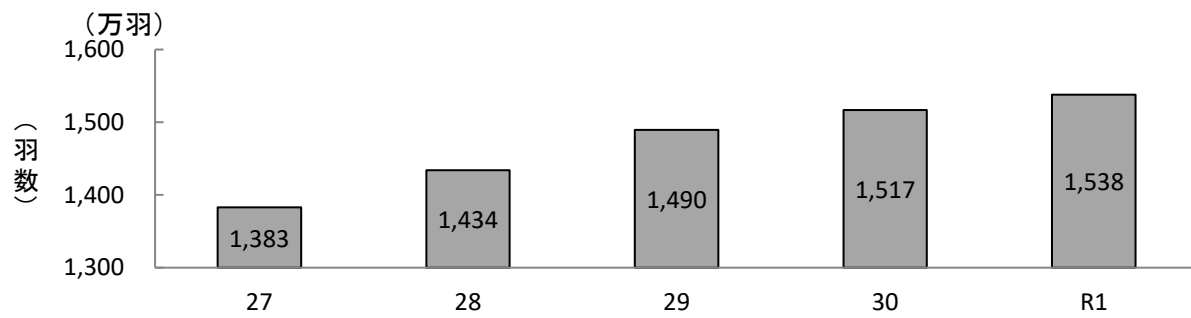


### 生産量はわずかに増加

令和元年次の鶏卵生産量は7万2,992tで、前年と比べて1.2%増加した。

#### (4) 採卵用ひな出荷羽数

##### 県内登録ふ化業者の採卵用ひな出荷羽数の動き

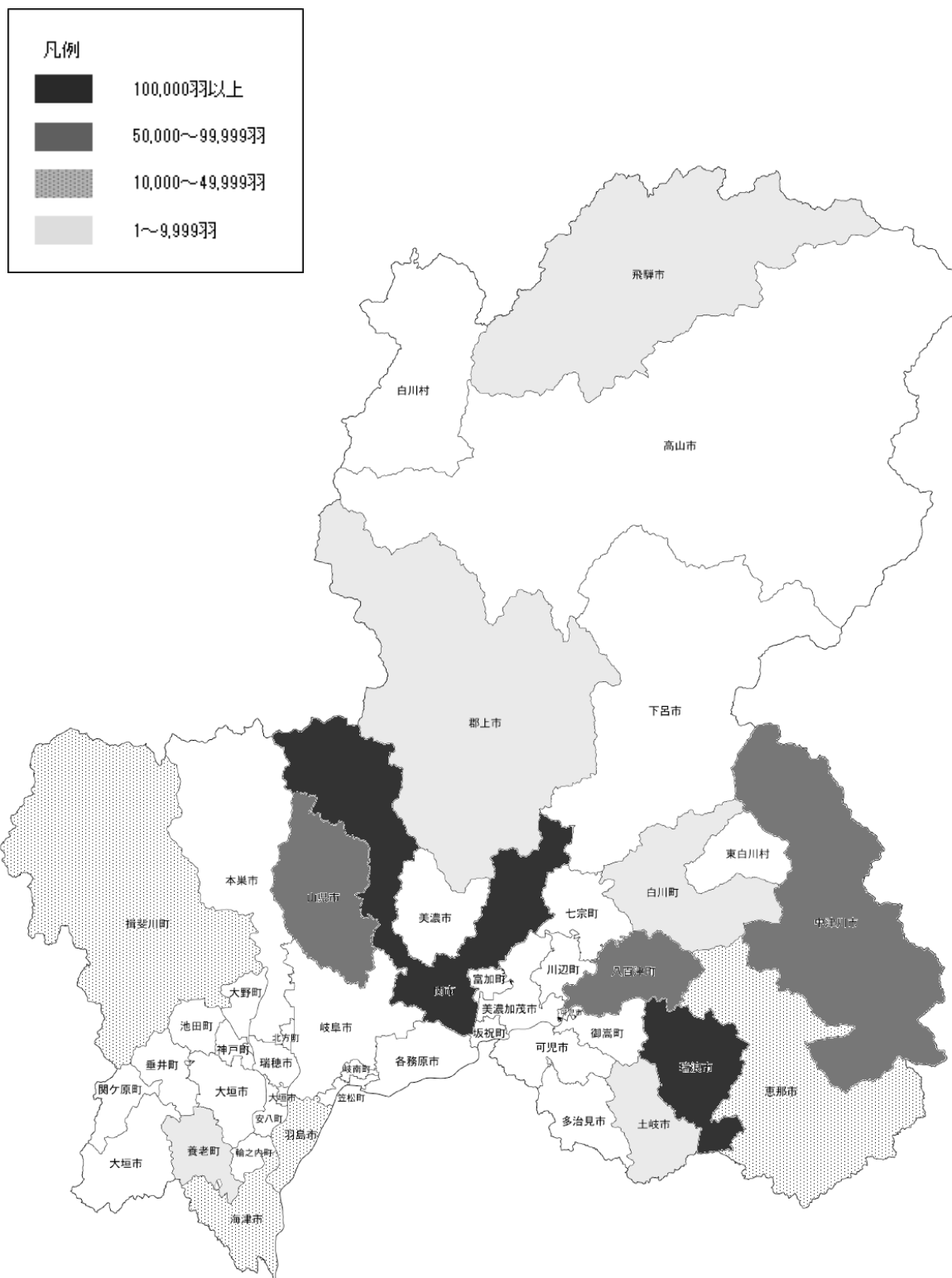


資料: 県畜産振興課

#### 採卵用ひな出荷羽数はわずかに増加

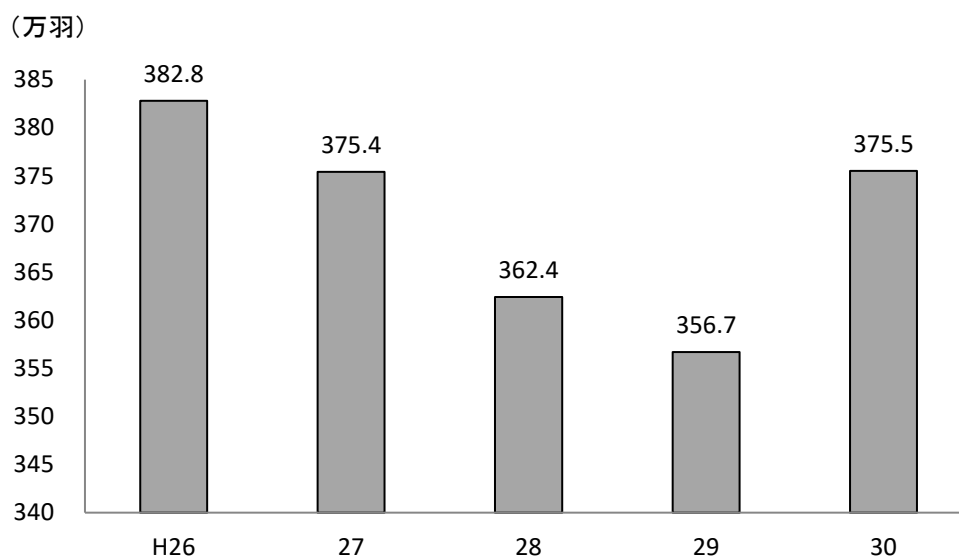
県内登録ふ化業者の採卵用ひな出荷羽数は、1,538万羽であり前年に比べ1.4%増加した。

(5)ブロイラーの飼養羽数の分布(令和2年2月1日現在)



資料: 県畜産振興課

## (6)ブロイラーの出荷羽数



資料:「畜産統計調査」

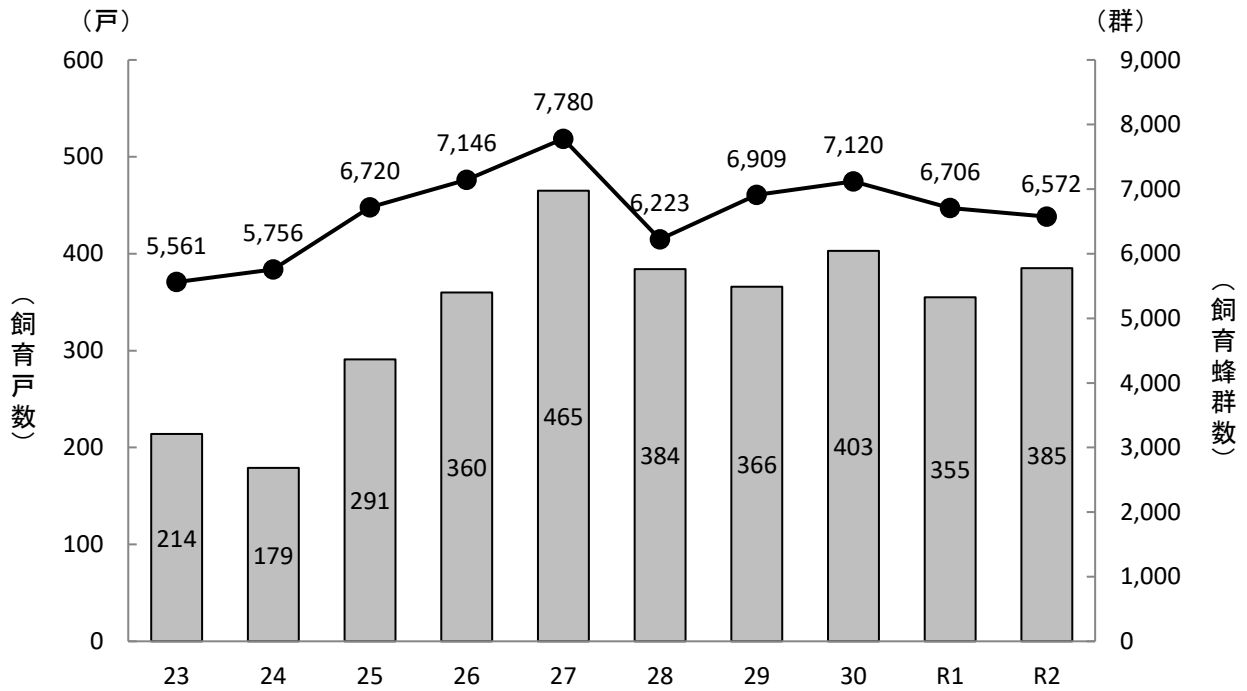
\*令和元年次は調査未実施

### 出荷羽数は増加

平成30年次のブロイラー出荷羽数は375万5,000羽で、前年と比べて5.3%増加した。

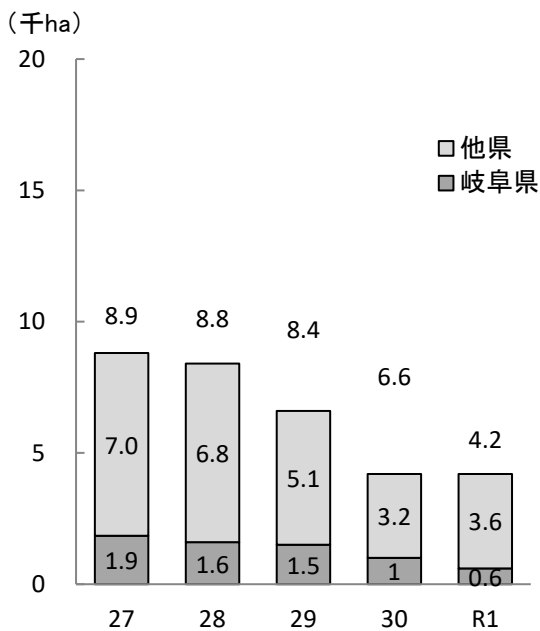
## 5 養蜂

### 蜜蜂飼育状況の推移



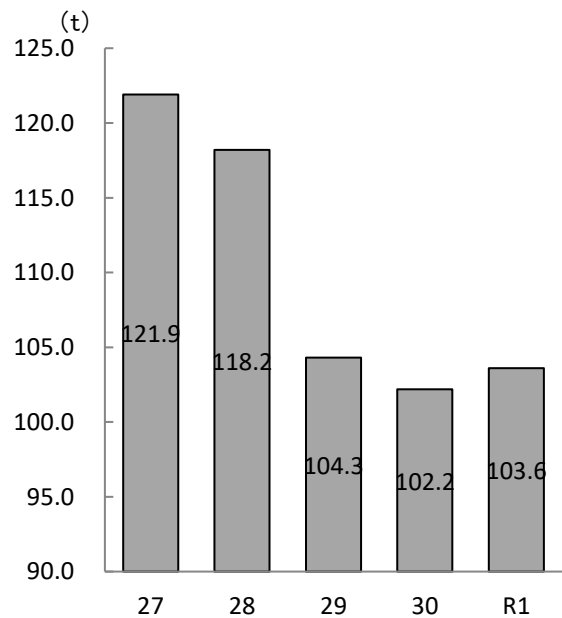
資料: 県畜産振興課

### 全国のレンゲ作付面積に占める岐阜県の割合



資料: 農林水産省「養蜂をめぐる情勢」、県畜産振興課

### 県内のはちみつ生産量



資料: 岐阜県養蜂組合連合会

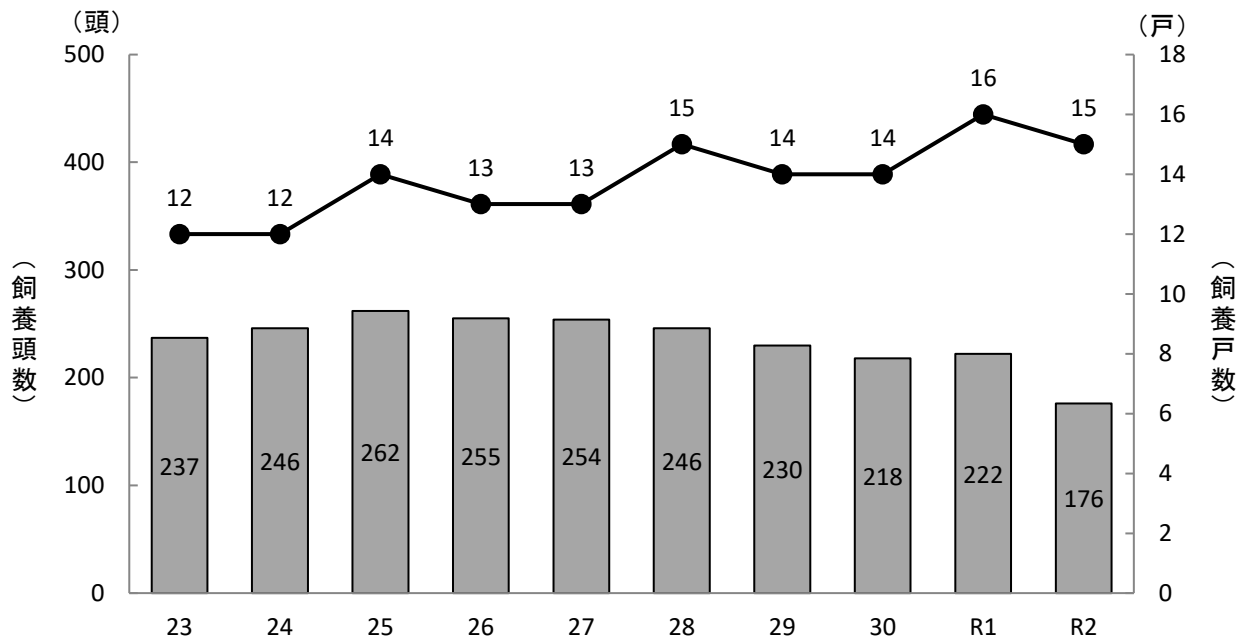
### 飼育戸数、はちみつ生産量はわずかに増加

令和2年1月1日現在の飼育戸数は385戸で、前年に比べ8%増加し、飼育蜂群数は6,572群で、前年に比べ2%減少した。平成24年6月の養蜂振興法の改正に伴い、蜜蜂飼育届の対象者が養蜂業者に加え、趣味などで蜜蜂を飼育する者まで拡大され、届け出結果による飼育戸数及び群数は不安定な推移となっているが、近年は横ばい傾向となっている。

県の花であり、蜜源として重要な役割を果たしているレンゲの作付面積は、年々減少傾向にあり、令和元年度は600haであった。令和元年度の県内はちみつ生産量は103.6万tで、前年に比べ1%増加した。

## 6 めん羊・馬

### (1) めん羊の飼養戸数と頭数

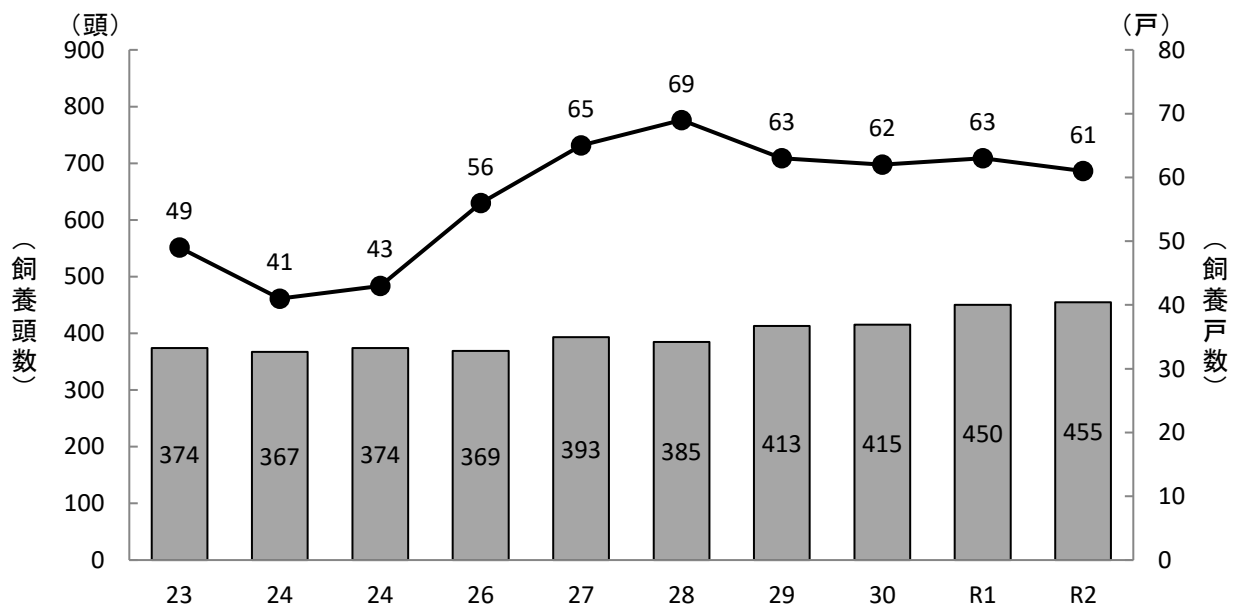


資料: 県畜産振興課

### めん羊の飼養頭数は減少

令和2年2月1日現在のめん羊の飼育戸数は15戸であった。飼育頭数は、前年に比べて46頭減少して176頭になった。

### (2) 馬の飼養戸数と頭数



\* 笠松競馬は除く

資料: 県畜産振興課

### 馬の飼育頭数は増加

令和2年2月1日現在の馬の飼養戸数は63戸、飼養頭数は455頭であった。

# 公共牧場の概要

番号	区 分 牧場名	牧場所在地	所有者	管理者	牧場面積 (ha) <sup>※1</sup>	左の内訳(ha) <sup>※1</sup>			R1.7.1現在飼養頭数 <sup>※3</sup>		
						牧草地 <sup>※2</sup>	野草地 (混牧林地)	その他	乳用牛	肉用牛	その他
1	とうのうぼくじょう 東濃牧場	恵那市長島町鍋山	岐阜県	(一社)岐阜県農畜産公社	229	162 (53)	-	67	780	86	-
2	ひだぼくじょう 飛驒牧場	高山市清見町檜谷	岐阜県	(一社)岐阜県農畜産公社	410	281 (44)	-	129	-	554	-
3	みぞれいぼくじょう 水沢上牧場	郡上市明宝奥住	郡上市	郡上市	100.2	85 (17)	8.2	7	休止中		
4	たきうえぼくじょう 滝上牧場	下呂市小坂町滝上	下呂市	南飛驒牧場管理組合	130	41	89	-	-	○	-
5	くろいしぼくじょう 黒石牧場	下呂市馬瀬黒石	下呂市	南飛驒牧場管理組合	70	9	61	-	休止中		
6	いわいぼくじょう 岩井牧場	高山市岩井町	高山市	高山市	13	13	-	-	-	○	-
7	いっしきぼくじょう 一色牧場	高山市荘川町一色	高山市	高山市	75	61	14	-	-	○	-
8	ひらいわぼくじょう 平岩牧場	高山市朝日町胡桃島	飛驒森林管理署	平岩牧野管理組合	8	8	-	-	-	-	-
9	おおひらぼくじょう 大平牧場	高山市朝日町胡桃島	岐阜森林管理署	大平牧野管理組合	170	-	170	-	-	○	-
10	ひだおんたけぼくじょう 飛驒御岳牧場	高山市高根町日和田・猪之鼻	高山市	高山市	473	174	299	-	-	○	-
11	ほだかぼくじょう 徳高牧場	高山市奥飛驒温泉郷神坂	飛驒森林管理署	高山市和牛改良組合上宝支部	20	-	20	-	-	○	-
12	かりやすぼくじょう 莉安牧場	高山市一之宮町莉安	高山市	宮村草地管理組合	40	40 (18)	-	-	-	-	-
13	おどりやまぼくじょう 小鳥山牧場	高山市清見町池本	高山市	高山市	71	71	-	-	-	○	-
14	しらゆみぼくじょう 白弓牧場	大野郡白川村木谷	白川村	白川村	40	20	20	-	休止中		
15	おおふなぼくじょう 大船牧場	恵那市上矢作町	恵那市	恵那市	24	24	-	-	休止中		
16	なかつがふれあいぼくじょう 中津川市ふれあい牧場	中津川市落合	中津川市	中津川市	45	19 (12)	1	25	-	-	羊, 山羊 , ポニー
17	くらいやまぼくじょう 位山牧場	下呂市萩原町山之口	下呂市	南飛驒牧場管理組合	26	25	-	1	-	-	-
18	くてぼくじょう 久手牧場	高山市丹生川町久手	高山市	高山市	100	36 (4)	64	-	-	○	-
19	もりもぼくじょう 森茂牧場	飛驒市神岡町森茂	飛驒市	森茂牧場管理組合	14	14	-	-	-	○	-
20	いしやすみぼくじょう 石休牧場	中津川市馬籠	中津川市	石休草地利用組合	11	11	-	-	○	○	-
21	かくれぼたぼくじょう 隠畑放牧場	高山市朝日町青屋	高山市	隠畑牧野管理組合	90	31	59	-	-	-	-
22	きびゅうぼくじょう 黍生牧場	高山市高根町黍生	黍生地区区有林	黍生和牛生産組合	137	-	137	-	-	-	-
23	まんなみぼくじょう 万波牧場	飛驒市宮川町万波	飛驒市	農事組合法人飛驒かわい牧場	24	24 (24)	-	-	-	-	-
合計					2320.2	1149	942.2	229			

※1 四捨五入表示をしているため、各内訳を積み上げた数値は牧場面積の数値と一致しない場合がある。

※2 ( )内は採草地及び兼用地で内数

※3 飼養頭数は県有牧場のみ開示

令和元年度に利用されている公共牧場は19牧場あり、その所有状況は、県有2牧場、市町村有13牧場、任意組合等有4牧場となっている。

県内畜産関係機関一覧(順不同) ※令和3年4月1日時点

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
東海農政局岐阜拠点(統計子一ム)	500-8288	岐阜市中鷲2-26	(058)271-4064	271-4066
岐阜県農政部畜産振興課	500-8570	岐阜市藪田南2-2-1	(058)272-1111 (代)	278-2694
		(酪農・飼料係／養豚・養鶏係)	(058)272-8449 (直)	
		(畜産基盤係／銘柄推進係)	(058)272-8447 (直)	
岐阜県農政部家畜防疫対策課		(防疫対策係／防疫指導係)	(058)272-8446 (直)	278-3531
岐阜県農政部家畜伝染病対策課		(防疫企画係／感染予防対策係)	(058)272-8909 (直)	278-3533
		(捕獲調査係)	(058)272-8091 (直)	
		(経口ワクチン対策係)	(058)272-8892 (直)	
岐阜農林事務所	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 OKBふれあい会館内	(058)213-7905 (直)	215-9029
西濃農林事務所	503-0838	大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内	(0584)73-1111 (代)	73-1156
揖斐農林事務所	501-0603	揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内	(0585)23-1111 (代)	22-6725
中濃農林事務所	501-3756	美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎内	(0575)33-4011 (代)	33-4060
郡上農林事務所	501-4292	郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内	(0575)67-1111 (代)	67-0961
可茂農林事務所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎内	(0574)25-3111 (代)	28-5301
東濃農林事務所	507-8708	多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内	(0572)23-1111 (代)	23-9440
恵那農林事務所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎内	(0573)26-1111 (代)	26-1377
下呂農林事務所	509-2592	下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内	(0576)52-3111 (代)	52-1483
飛騨農林事務所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内	(0577)33-1111 (代)	36-1246
中央家畜保健衛生所	501-1112	岐阜市柳戸1-1	(058)201-0530	201-0531
中濃家畜保健衛生所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎内	(0574)25-3111 (代)	27-3092
東濃家畜保健衛生所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎内	(0573)26-1111 (代)	25-7669
飛騨家畜保健衛生所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内	(0577)33-1111 (代)	32-9019
岐阜県農業大学校	509-0241	可児市坂戸938	(0574)62-1226	62-1227
岐阜県畜産研究所				
(飛騨牛研究部)	506-0101	高山市清見町牧ヶ洞4393-1	(0577)68-2226	68-2227
(酪農研究部)	509-7601	恵那市山岡町久保原1975-615	(0573)56-2769	56-2974
(養豚・養鶏研究部)	505-0037	美濃加茂市前平町3-8	(0574)25-2185	28-4132
(養豚・養鶏研究部 関試験地)	501-3924	関市迫間2672-1	(0575)22-3165	22-3164
岐阜県農業技術センター	501-1152	岐阜市又丸729-1	(058)239-3131 (代)	239-3139
岐阜県東濃牧場	509-7211	恵那市長島町正家鍋山4-66	(0573)56-2737	56-2146
岐阜県飛騨牧場	509-2701	高山市清見町櫛谷116-4	(0576)69-2188	69-2189
岐阜県地方競馬組合	501-6036	羽島郡笠松町若葉町12 笠松競馬場内	(058)387-3278	387-0974
(一社)岐阜県農畜産公社	500-8384	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	(058)276-4601	276-1268
岐阜大学応用生物科学部	501-1193	岐阜市柳戸1-1	(058)293-2834 (代)	293-2840
岐阜県農業協同組合中央会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5611	278-0039
岐阜県信用農業協同組合連合会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5111 (代)	278-0135
全国農業協同組合連合会岐阜県本部畜産販売課	501-3928	関市西田原字大河原441 関家畜流通センター内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
JA東日本くみあい飼料(株)東海支店岐阜駐在	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5345 (代)	276-5348
岐阜県農業共済組合	501-6132	岐阜市次木348-1	(058)270-0081	270-0088



名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
岐阜県酪農農業協同組合連合会	501-3756	美濃市生櫛439-2	(0575)46-8803	46-8891
(一社)岐阜県畜産協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1531 (代)	278-0068
(公社)全国和牛登録協会岐阜県支部	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県肉用牛協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県養豚協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県養鶏協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
飛騨牛銘柄推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
飛騨けんとう・美濃けんとう普及推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
美濃ヘルシーポーク銘柄推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
奥美濃古地鶏普及推進協議会	501-2105	山県市高富227-4 岐阜アグリフーズ(株)内	0581-27-3766	22-1536
岐阜県家畜人工授精師協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9200	273-9200
(公社)岐阜県獣医師会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1595	275-1843
岐阜県牛乳普及協会	501-3756	美濃市生櫛439-2	(0575)46-8803	46-8891
岐阜県牛乳協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1596	274-4223
岐阜県牛乳事業協同組合	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1596	274-4223
(一社)岐阜県農業会議	500-8384	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	(058)268-2527	273-6177
(株)岐阜県畜産公社	500-8266	岐阜市境川5-148	(058)272-2559	274-9666
岐阜県食肉事業協同組合連合会	500-8266	岐阜市境川5-148	(058)273-6011	274-8248
(一社)岐阜県配合飼料価格安定基金協会	500-8384	岐阜市藪田南1-5-1 第2松波ビル内	(058)273-9032	273-0328
岐阜県養蜂組合連合会	501-3152	岐阜市岩滝西1丁目129	080-4533-1068	242-9938
岐阜県家畜商協同組合	500-8357	岐阜市六条大溝4-4-7	(058)273-9207	271-1471
(公財)みつばちの家	502-0801	岐阜市椿洞776-3	(058)294-2002	—
(一社)岐阜県馬主会	501-6036	羽島郡笠松町若葉町12 笠松競馬場内	(058)388-1213	388-1213
岐阜県園芸特産振興会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	058-276-5337	276-5338
岐阜県飼料用米利用促進協議会	509-0108	各務原市須衛町4丁目291 岐阜養鶏農協内	(058)370-8323	370-8091
(一社)ぎふクリーン農業研究センター	500-8367	岐阜市宇佐南4-11-5	(058)276-5072	276-5074
岐阜県農業再生協議会	500-8570	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁農産園芸課内	(058)272-1111 (代)	278-2692



## 2020 岐 阜 の 畜 産

令和3年3月発行

編集・発行 岐 阜 県

岐阜市藪田南2-1-1

TEL (058) 272-1111(代)